

(PLAN) 計画

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, etc. Content includes '放課後子ども教室推進事業', '山形県学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金交付要綱', '一般会計', '10款5項1目 社会教育総務事業費', '01-100401-0200'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態. Content includes '子どもたちが安心して安全に活動できる居場所を設け、地域の方の参画を得て子どもたちとの交流活動等の取り組みを推進する。', '市内小学校区児童及び義務教育学校区(1~6年生)児童', '放課後の子どもたちが安心して安全に活動できる場の確保を図る。また、地域での世代間交流を図り、地域文化を学ぶ機会を設ける。', '市直営', '全部委託', '一部委託', '補助・負担', '市民協働', '指定管理', '事務局', 'その他'.

3. 実施状況

Table with 12 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, R2見込. Content includes '放課後子ども教室未設置小学校区数(学区)', '設置場所数(学区)', '参加児童数(延べ)'.

Table with 12 columns: 補足説明, 教室毎の参加者数, 教室名, 対象校, H26, H27, H28, H29, H30, R1, R2. Content includes '教室名の参加者数', '萩野公民館放課後子ども教室', '萩野学園放課後子ども教室', '本合海小学校放課後子ども教室', '北辰小学校放課後子ども教室'.

成果(どのような状態になったか) 萩野学園、本合海小学校、北辰小学校において活発な活動ができた。実施地域では、放課後や休日に子どもたちが安心安全に活動できる場所が確保できたとともに、世代間交流を図ることができた。

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1. Content includes '事業費', '内訳', '人件費', '費用合計(①+②)', '臨時囑託等(人)', '事業費増減の理由(30%以上増減の場合)'.

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	施策展開の「放課後児童対策の充実」に合致する。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	学校及び地域との連携を深めるとともに、各教室の体験メニューを工夫することで、成果の向上が期待できる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	子どもの安全を確保するため、最低限の人員配置が必要である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	子どもの安全を確保しつつ、事業を実施していく上で、最低限必要な事業費である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	対象児童の当該学校区で地域に密着して行う必要がある。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	地域の方や各種団体に指導者・サポーターとして参加していただき、事業を実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	放課後の子ども達が安心して安全に活動できる場所を設けるため、国・県・市が一体となり実施している。開催回数やメニューなどは、地域の実情に合わせて実施している。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
地域の方々を中心に指導者となり、地域の特長を活かしたメニューを提供している。子ども達の安全な居場所を確保しつつ、世代間交流をはかることができた。しかし、指導者には高齢な方もおり、指導者の世代交代を考慮しつつ事業を継続する必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

萩野学園と本合海小学校では、指導者を中心に様々なメニューを実施し、活動の充実を図っている。また、指導者も「スポーツ推進委員協議会」や「民話の会」などの団体へ依頼を行う等の対応を行い、安心して安全に活動できる場の確保を図るとともに、地域での世代間交流を図り、地域文化を学ぶ機会を設けている。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
・事業の継続性を図るため、指導者の確保に関しては、個人に依頼を行うとともに、組織化している団体に依頼を行う。 ・地域文化の伝承に関しては、地域力の向上が不可欠である。この課題は社会教育課のみでなく、全庁的な課題であるため、課題解決のためには、市役所内の合意形成が必要と思われる。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	引き続き、団体や他地域の指導者の確保について検討を行う。また、本合海地域においては伝統文化を継承している団体が他にもあるため、連携を図る。萩野小、本合海小以外の小学校区での実施と放課後児童クラブとの連携について検討していく。	所属長評価	子どもたちにとって、安心安全な事業を継続していくために、参加人数の適正化や指導者の確保について引き続き検討していく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	家庭教育推進事業			事務事業コード	212-203-63
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	社会教育課
	政策名	1	子育て環境を充実し、子どもの健やかな成長を支援する	担当者	伊藤 洋一
	施策名	2	家庭における子育てへの支援	内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	山形県学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金交付要綱				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項1目	社会教育総務費	予算コード	01-100401-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 R2 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	核家族化や少子化、社会情勢の変化などにより、家庭における教育力の低下が指摘されている。家庭教育力の向上を図るため学習の場の提供を行う。	事業内容	山形県学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金を受け事業を行う。 小中学校の保護者を対象としてやまがた子育て講座・地域相談室、保育所等の保護者を対象として幼児共育ふれあい広場を開催し、家庭教育について学習する機会を提供する。		
対象	子どもを持つ親等 市内小学校、中学校、義務教育学校、保育所、幼稚園及び保育園等の保護者		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	
目指す状態	PTA活動等と連携しながら親同士の連携を図り、家庭における教育力の向上を目指す。				

3. 実施状況

対象指標	指標名称	講義開催希望の学校・施設数(箇所)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込		
			実績	22	22	21	16	27	21	23		
達成率												
活動指標	指標名称	講座の開催(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画		
			実績	16	15	12	11	10	11	18		
達成率	88.9%	83.3%	66.6%	61.1%	55.6%	61.1%						
成果指標	指標名称	参加者(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標		
			実績	1,503	1,666	864	1,043	740	593	1,700		
達成率	88.4%	98.0%	50.8%	61.4%	43.5%	34.9%						
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)											
	区分	指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2			
	幼児共育ふれあい広場	実施数	8	8	4	6	7	6				
		参加者数	710	838	600	592	580	369				
	やまがた子育て講座	実施数	7	7	8	5	3	5				
参加者数		793	828	264	451	160	224					
※平成27年度実施の地域相談室は、やまがた子育て講座に含む ※平成26年度及び27年度は複数の小学校及び中学校が合同で学校行事として、やまがた子育て講座を取り入れたため、参加者が多かった												
成果(どのような状態になったか)	事業の継続に伴い、学校や保育所からのニーズが高い。											

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	251	300	294	265	193	207	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金	83	100	98	88	64	62	山形県学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金	125
	県支出金	84	100	98	88	64	63		
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	84	100	98	89	65	82	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,405	1,562	1,562	1,780	1,781	2,567	報償費	176	
内訳	正規職員(人)	0.18	0.18	0.18	0.23	0.23	0.33	需用費	31
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	1,656	1,862	1,856	1,892	1,893	2,774			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	令和元年度は、職員の育休対応で、担当する者が2人体制となったため、人件費の算定が高くなった。								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	施策展開の「家庭教育の支援」に合致している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	家庭での教育力向上を目指すことから、保護者や祖父母などを対象としており、適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	開催箇所数の増加を図ることにより、向上の余地はある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	講座を実施するために最低限必要な金額である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	最小限度の人員配置である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	家庭教育に関する講座やその周知など、他自治体と連携して実施していくことは可能である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	講座開催にあたっては、公立小・中学校や公立保育所のほか、私立保育園・幼稚園の協力を得て実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	家庭での教育力が低下しているといわれる中で、開催場所の希望に応じた実施時期、講師選定を行っており、地域の課題にあわせた事業となっている。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
アンケートによると参加者の満足度も高く、毎年、幼児共育ふれあい広場、子育て講座を実施している学校・保育園等もある。継続して実施することで、家庭教育の効果が上がっていくと考えられる。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

学校や保育園などとの連携が必要であるため年度始めに学校・保育園に実施の案内を行うと同時に、ニーズの把握を行う。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
事前の需要調査で実施予定との回答を得ても、実施に至らない学校や保育園などもある。希望があった学校・保育園等で講座を実施できるよう連携する必要がある。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)			
所属長評価	需要調査時に、他団体で実施した事業を提供するなど、未実施団体への周知を工夫する必要がある。	所属長評価	実施している講座については、概ね参加者の満足度も高く家庭での教育力の向上も期待できるため、参加していない層への働きかけについても検討する必要がある。今後、各学校等の実施だけでなく、広く市民の方々に家庭教育の重要性を考えていただく機会を設ける必要もある。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	「山大エリアキャンパスもがみ」運営事業〔フィールドワーク事業〕			事務事業コード	312-301-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	担当者	小山 知将
	施策名	2	地域に根ざした学校教育の充実	内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項3目	山形大学エリアキャンパスもがみ支援事業費	予算コード	01-100103-1300
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	● 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 17 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	新庄市外の大学生を地域の方々を受け入れることにより、地域の方々を実施していることに対して、学生の新たな視点を取り入れるてもらうとともに、学生に新庄の魅力を感じてもらい、学生が関係人口となることを目的とする。	事業内容	山形大学と連携し、地域そのものを大学のキャンパスに見立て、新庄市特有の歴史や文化等を活用した特色あるプログラムを学生に提供する。		
対象	山形大学生を受け入れる地域の指導者及び子ども達				
目指す状態	フィールドワークを通して、山形大学生には、新庄市の歴史や文化等を学んでもらい、地域住民には、学生との交流を深めてもらう。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	フィールドワーク受け入れ団体等	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	7	7	6	6	6	7	
活動指標	指標名称	フィールドワーク受け入れ人数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
実績	73	68	56	63	59	69				
達成率	104.3%	97.1%	80.0%	90.0%	84.3%	98.6%	70			
成果指標	指標名称	フィールドワークプログラム数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
実績	7	7	6	6	6	7				
達成率	100.0%	100.0%	85.7%	85.7%	85.7%	100.0%	7			

(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)

補足説明	【R01フィールドワーク実施プログラム】						
	前期	プログラム名	参加学生数	受入団体		主な実施内容	
		①	新庄まつり	12人	新庄まつりサポーター'S		新庄まつりタウンミーティング開催
②	東山焼き	11人	東山焼き		学生による東山焼き作品創作		
③	地域資源(山屋)	10人	山屋地区有志の会		山大学生による山屋地区活性化の提言を実施		
④	図書館	10人	とらいあ		kitoktioマルシェにおいて山大学生企画を実施		
⑤	七所明神	10人	七所明神の環境を良くする会		御祭燈祭の開催補助		
⑥	民俗文化	7人	隠明寺風保存会、新庄民話		隠明寺風製作、昔語り実施		
⑦	万場町のくらし	9人	最上のくらし舎		まち歩きマップの作成		
成果(どのような状態になったか)	新庄市の特色ある7つのプログラムを学生に提供し、指導者である地域住民と大いに交流することができた。また、交流を通して、学生の目線による新たな提言等もいただいた。						

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①	278	264	200	195	198	224	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	278	264	200	195	198	224	主な歳出の内訳
人件費・・・②	1,405	1,484	1,471	2,214	1,757	2,645	謝金	224
内訳	正規職員(人)	0.18	0.19	0.19	0.28	0.23	0.34	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	
費用合計(①+②)	1,683	1,748	1,671	2,409	1,955	2,869		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	令和元年度は、職員の育休対応で、担当する者が2人体制となったことや、プログラム数が増加したため、人件費の算定が高くなった。							

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	大学生が新庄市で活動し、地域住民が地元の物・事を紹介するなど、地域の人たちが外と交流しようとする事により、自分の地域を見直す機会となっている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	地域住民と学生が交流し、課題解決に取り組む活動を実施することにより、地域活動の活性化に結びついている。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	プログラム内容に修正を加えていくなど、さらなる成果向上の余地はある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	事業のほとんどが謝金であり、フィールドワーク受入団体については、材料や経費がかかるため、今でも謝金が十分でなく、これ以上の削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	土日実施の事業であり、職員は時間外対応となるが改善の余地はない。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	最上地域8市町村それぞれが独自色を出して実施している事業であるため、効率性を高めるための連携はできない。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	山形大学、市町村、地元講師とそれぞれの役割を分担し、実施している事業であり、協働事業としては適正ではあるものの、令和2年から大学の予算削減のため、プログラム実施数を1つに絞る方向である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域にあったプログラム内容を地域で構築している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
高等教育機関のない新庄においては、大学生と交流できる機会は貴重であり、この機会を活かし、継続して地域と大学生が交流できるように事業展開していたものの、山形大学の事業予算削減に伴い、令和2年度よりプログラム数を1つにすることとなる。 そのため、事業効果を最大限下げずに行うことが重要であるとともに、事業規模が縮小するため、市の事務事業上の位置づけも変更する必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

改善方法の視点を重視した受入団体として、学生が達成感が持てるプログラム作成能力や、継続した連絡が取れる体制が整っている「もがみのくらし舎」の選定を行った。

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
事業規模を縮小せざるを得ないが、令和2年度に実施するプログラムは、授業の1回だけでなく、継続してプログラム受入団体と学生が繋がりを持てるようなプログラム実施ができる受入団体の選定を行う必要がある。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)			
所属長評価	地域・大学・行政が協働で行う事業であるとともに、高等教育機関の学生が新庄市に訪れ、地域の方との関係性を築く機会である。そのため、このプログラムがきっかけとなり、その後の活動として地域と大学生自身が新庄市の課題解決へ取り組む事例や仕組みを作っていく必要がある。	所属長評価	大学の意向として事業規模を縮小するとのことであったが、事業目的である、高等教育機関の関係人口が増えるよう、事業実施をしていくとともに、事業実施後の学生との関りなど、別のアプローチも考える必要がある。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	国際理解推進事業			事務事業コード	321-101-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	伊藤 幸枝
	施策名	1	生涯にわたる学びの推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項2目	市民プラザ管理事業費	予算コード	01-100402-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	世界にはさまざまな民族や文化、宗教、価値観があることを理解し、多文化共生の理念を育む。	事業内容	・日本語教室の開催 ・交流会(特別講座)		
対象	市民及び在住外国人				
目指す状態	在住外国人の日本語理解を進めることにより地域社会への参加を促し、市民と在住外国人が国籍や文化を超えて交流する場の提供を行う。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	外国人登録者数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	328	302	276	311	337	364	380
説明(算式等)	平成31年3月末現在(住民基本台帳)		達成率							
活動指標	指標名称	日本語教室参加(登録)者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	12	16	16	12	11	11	20
説明(算式等)			達成率	60.0%	80.0%	80.0%	60.0%	55.0%	55.0%	
成果指標	指標名称	交流事業(延)参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	25	17	10	0	11	7	25
説明(算式等)			達成率	100.0%	68.0%	40.0%	0.0%	44.0%	28.0%	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	新庄市在住外国人登録者数と受講者数									
		H26	H27	H28	H29	H30	R1			
	登録者数	328	302	276	311	337	364			
	受講者数	12	16	16	12	11	11			
	参加率(%)	3.7	5.3	5.6	3.9	3.2	3.0%			
成果(どのような状態になったか)	海外技能実習生やその妻の参加があったが、仕事や交通手段の事情により9月から参加者が減った。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①	0	0	0	0	165	165	事業費の算出根拠(R1)	
内訳	国庫支出金						歳入の積算内訳	
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳
人件費・・・②	468	468	464	696	611	622	指定管理料に含む	
内訳	正規職員(人)	0.06	0.06	0.06	0.09	0.08	0.08	
1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	468	468	464	696	776	787		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	「生涯にわたる学びの推進」に合致している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	国際理解を推進するうえで、概ね適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	周知方法の検討。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	講師謝金と教材費を賄うため最低限度必要である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	最低限必要な人員である。
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	他自治体と連携し、講座の開催をすることは可能である。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	交流会で地域の方に指導者になってもらうなど、協働が可能である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	在住外国人の地域社会への参加を促すために日本語理解を進めることは必要である。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
通常講習の外、東山焼、茶道の特別講習を行い、日本の伝統文化に触れる機会を設けた。短期滞在者だけでなく、日本語の習得を必要とする在住外国人への周知が課題である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

コロナウイルス対策により、講座開催予定時期を検討している。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
多言語による周知を検討する。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	参加者の協力による日本語以外でのチラシの作成など、周知について工夫する必要がある。また、在住外国人の地域社会への参加を促すために、市民と在住外国人が国籍や文化を超えて交流する場の提供について検討する必要がある。オリパラのホストタウンとして事業を実施していくうえで、この事業の推進も視野に入れながら取り組んでいく必要がある。	所属長評価	参加者の協力による日本語以外でのチラシの作成など、周知について工夫する必要がある。また、在住外国人の地域社会への参加を促すために、市民と在住外国人が国籍や文化を超えて交流する場の提供について検討する必要がある。オリパラのホストタウンとして事業を実施していくうえで、この事業の推進も視野に入れながら取り組んでいく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	市民プラザ管理事業			事務事業コード	321-201-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	皆川範雄
	施策名	1	生涯にわたる学びの推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	新庄市生涯学習センター設置及び管理に関する条例				
条例・要綱等	新庄市生涯学習センター設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項2目	市民プラザ管理事業費	予算コード	01-100402-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 21 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	本市における生涯学習の推進及び市民の生活文化の振興並びに社会福祉の増進を図る。	事業内容	指定管理者制度を活用し、日本語教室や県美展など教育委員会からの委託事業やプラザまつり、ゆめの根っこ塾など、さまざまな自主事業を実施する。 また、350人収容できる大ホールや130人収容できる小ホールをはじめ研修室や音楽室、実習室など幅広いニーズに対応した各施設の貸館をしているため、安全で快適な利用ができるように、施設の維持管理を行う。		
対象	市民				
目指す状態	市民がいろいろな分野で自発的に生涯学習を行えるように、施設環境を管理整備し生涯学習への興味ときっかけづくりを行うための施設として活用する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	121,114	108,381	115,804	106,499	104,243	117,136	100,000
説明(算式等)		達成率								
活動指標	指標名称	施設稼働率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	27	20	25	23	23	24	40
説明(算式等)		達成率	67.5%	50.0%	62.5%	58.5%	57.5%	59.8%		
成果指標	指標名称	自主事業の参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	1,930	2,034	2,299	3,215	3,372	3,609	2,000
説明(算式等)		達成率	96.5%	101.7%	115.0%	160.8%	168.6%	180.5%		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
		【H30に実施した自主事業】								
		①キッズフェスタ ②プラザ名画座 ③料理教室 ④陶芸工房 ⑤園芸講座 ⑥サークルサポート事業 ⑦パン教室 ⑧手芸教室 ⑨夏休み！プラザの体験教室 ⑩新庄市民プラザ開館30周年記念事業 ⑪男のエンディングライフセミナー								
補足説明		【R1実施した自主事業】								
		①キッズフェスタ ②プラザ名画座 ③料理教室 ④陶芸工房 ⑤園芸講座 ⑥プラザのお茶会 ⑦夏休み！プラザの体験教室 ⑧切り絵教室 ⑨生涯学習講座 ⑩新春映画上映会 ⑪羊毛フェルト講座								
成果(どのような状態になったか)	民間の活力を導入しサービスの向上を図り、コストの軽減化を図るとともに、きめこまやかな管理運営を行った。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	38,026	40,356	36,990	43,853	38,122	41,453	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	38,026	40,356	36,990	43,853	38,122	41,453	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	1,093	1,015	1,006	949	1,452	1,712	修繕料	4,478	
内訳	正規職員(人)	0.14	0.13	0.13	0.12	0.19	0.22	手数料	7
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	指定管理委託料	36,968
費用合計(①+②)	39,119	41,371	37,996	44,802	39,574	43,165			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	各種事業の実施により広く市民の生活文化の振興につながった
	②対象や目指す状態が 適当であるか	○ 適切である ● 見直しの余地がある	施設利用者だけでなく広く市民に生涯学習の推進と文化芸術への興味を展開するための事業計画が必要
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	生涯学習の推進を基盤として他目的に施設の利用率の向上につなげる(条例等の見直しも検討)
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	施設の他目的な利用を行って効率的に稼働率を上げる事で収入の増加を図る
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度を導入し、必要な人員を配置している
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	定住自立圏による連携事業で取り組めないか
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	現在の指定管理制度だけでなく設備維持更新などについても官民連携事業の検討
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	生涯学習の推進を基盤として他目的に施設の利用率の向上につながる

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
施設の利用率や利用人数の向上はもとより、施設の長寿命化と持続性を再検討する

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

「公共施設総合管理計画」などの考え方を踏まえ施設利用状況を増やせるように分析、検討が必要
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
「市民への生涯学習の推進」を主目的とし、さらに施設を有効活用し空き室の他目的な利用に向けた検討を進める。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	今後も利用者の声を積極的に収集するとともに、公共施設総合管理計画を踏まえた持続可能な施設運営に努める。特に施設管理において、危機管理意識を持って各種点検を行い、施設の安全管理を徹底していく。	所属長評価	今後も利用者の声を積極的に収集するとともに、公共施設総合管理計画を踏まえた持続可能な施設運営に努める。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	図書館管理事業			事務事業コード	321-202-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	皆川範雄
	施策名	1	生涯にわたる学びの推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市立図書館条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項4目	図書館管理運営事業費	予算コード	01-100404-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 21 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする。	事業内容	指定管理者制度を活用し、既存図書の整備や新刊図書の定期的な購入など、約13万冊の図書を蔵書している。図書の貸し出し、レファレンスのほか、学校、施設等と連携をとりながら、移動図書館や読み聞かせ活動等の事業を行う。		
対象	市民				
目指す状態	市民の生涯学習の推進を図るため、利用者の読書ニーズに応え、快適に学習する場を提供する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	96,227	91,796	89,164	86,133	86,933	84,762	95,000
活動指標	指標名称	貸出冊数(冊)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
実績	150,091	150,855	149,875	139,260	140,022	141,422	160,000			
成果指標	指標名称	図書館の貸出人数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
実績	31,862	31,824	31,239	28,565	28,275	28,381	32,000			
達成率	93.8%	94.3%	93.7%	87.0%	87.5%	88.4%				
達成率	99.6%	99.5%	97.6%	89.3%	88.4%	88.7%				

補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	【H30に実施した主な事業】 ①読書感想文コンクール ②ブックスタート ③ハローブック ④公民館配本 ⑤移動図書館 ⑥図書館まつり ⑦えほんぱーく ⑧お話し会 ⑨学習資料相談会 ⑩こども夏のつどい ⑪企画展示 ⑫図書館広報 ⑬図書館ボランティア推進 ⑭学校図書館支援 ⑮出前図書館 ⑯としょかん子どもフェスタなど									
	【R1に実施した主な事業】 ①読書感想文コンクール ②ブックスタート ③ハローブック ④公民館配本 ⑤移動図書館 ⑥図書館まつり ⑦えほんぱーく ⑧お話し会 ⑨学習資料相談会 ⑩大人向けお盆休み特別企画 ⑪企画展示 ⑫図書館広報 ⑬図書館ボランティア推進 ⑭学校図書館支援 ⑮出前図書館 ⑯生活情報発信コーナ、ティーンズコーナーの設置 など									

成果(どのような状態になったか)	民間の活力を導入しサービスの向上を図り、コストの軽減化を図るとともに、きめこまやかな管理運営を行った。
------------------	---

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	43,086	51,090	43,925	44,706	48,124	43,728	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	43,086	51,090	43,925	44,706	48,124	43,728	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	1,093	1,015	1,006	1,344	1,834	1,712	委員報酬費	9	
内訳	正規職員(人)	0.14	0.13	0.13	0.17	0.24	0.22	修繕料	110
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	指定管理委託料	43,385
費用合計(①+②)	44,179	52,105	44,931	46,050	49,958	45,440	備品購入費	99	
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	利用者のニーズに応えた新刊圖書の購入や、各種の事業により市民の読書意欲の喚起が図られた。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	来館者のみならず各種事業により多くの市民に対して図書館サービスの提供が出来た。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	他の施設や他の分野の事業とも連携を行い新たな事業展開を検討する。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	企業と連携した収益事業を考える。(条例等のみ直しも検討)
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度により必要な人員は配置されている。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	郡内の町村と団体貸出を行っている。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者制度だけでなく設備維持更新等にかかる官民連携事業の検討を行う。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	図書館の設置目的にあった事業展開をしている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
数多くの事業により市民の読書意欲の喚起が図られた。長年の課題である冬期間屋根からの落雪対策について工事(繰越明許)を施工予定。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

屋根からの落雪対策工事を来年度早々に施工予定。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
落雪防止対策工事を実施して冬期間の利用向上に努める。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	施設課題の早期解決を進めるとともに図書館サービスの充実を図り、施設維持の持続性に向けた検討が必要。特に施設管理において、危機管理意識を持って各種点検を行い、施設の安全管理を徹底していく。	所属長評価	施設課題の早期解決を進めるとともに図書館サービスの充実を図り、施設維持の持続性に向けた検討が必要。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	雪の里情報館管理事業			事務事業コード	321-203-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	皆川範雄
	施策名	1	生涯にわたる学びの推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市雪の里情報館設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項9目	雪の里情報館管理事業費	予算コード	01-100409-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 20 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	雪害救済運動発祥の地としての業績を永く未来に伝えるとともに、雪及び雪国文化に関する学習、研究の場の提供や雪国他地域との交流などを積極的にすすめ、雪のふるさとづくりの推進を目的とする。	事業内容	指定管理者制度を活用し、雪セミナーを軸に、雪に関する各種事業を展開する。また、雪国に関する資料約4万点を収蔵しており、雪国文化の学習の場としても提供している。		
対象	市民				
目指す状態	「雪」または「雪国文化」を学習する機会、並びに研究できる場を提供し、市民の理解・関心を深めていく。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	15,323	14,216	15,716	15,752	16,409	17,599	20,000
説明(算式等)		達成率								
活動指標	指標名称	施設稼働率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	25	23	21	26	20	26	40
説明(算式等)		達成率	62.5%	57.5%	52.5%	65.0%	50.0%	65.0%		
成果指標	指標名称	ギャラリー展示室の利用者数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	3,754	3,043	4,964	4,809	6,263	4,439	5,000
説明(算式等)		達成率	75.1%	60.9%	99.3%	96.2%	125.3%	88.8%		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
		【H30に実施したギャラリー展示】								
		①星景写真展 ②能面展 ③新庄東山焼展 ④四季の風景画展⑤土(つち)と古(いにしえ)と灯(あかり)展⑥和小物展⑦第8回雪ん子俳句展								
	【R1に実施したギャラリー展示】									
	①雪の写真展 ②ちぎり絵展 ③かつろく展 ④キルト作品展⑤新庄地廻り三十三観音パネル展⑥工房ストロー手仕事展⑦彩縫クラブ作品展⑧木目込みひな人形展									
成果(どのような状態になったか)	民間の活力を導入しサービスの向上を図り、コストの軽減化を図るとともに、きめこまやかな管理運営を行った。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	20,424	19,120	18,570	20,418	22,659	20,443	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	20,424	19,120	18,570	20,418	22,659	20,443	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,093	1,015	1,006	949	1,452	1,323	委員等報酬	9	
内訳	正規職員(人)	0.14	0.13	0.13	0.12	0.19	0.17	修繕料	1,493
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	指定管理委託料	16,326
費用合計(①+②)	21,517	20,135	19,576	21,367	24,111	21,766	土地賃借料	2,486	
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	雪セミナー・今和次郎展などを開催し地域文化の継承や発見に結びついている
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	雪及び雪国文化に関する学習、研究の場を提供しており適切である
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	展示室のリニューアルや登録文化財としての活用による効果を図る。 また、雪に関する新しい取り組みの発信する。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	多目的な活用による利用率向上を図る。 企業との連携の可能性も検討する。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度により必要な人員は配置されている。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	雪に関連する他自治体(県内外)との連携も検討する。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	雪に関する企業などとの協働の可能性を検討する。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	● なっていない ○ なっている	過去の雪文化の発信だけでなくこれからの先進的な雪との関わりについても 発信していく。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
各種の雪に関するセミナーや展示などを中心に利用者数を増やすことができた。

8. 課題解決に向けた現時点における
取り組み状況

旧農林省積雪地方農村経済調査所の 保存活用計画の策定及び施設改 修計画の策定を整える
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
登録文化財としての活用と合わせた展示室のリニューアルを図り、雪のふるさとづくり情報発信 していく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長 評価	文化財保存活用計画の早期策定を進め、「雪」に関する情報の 発信拠点として効果的な利用を検討する。特に施設管理におい て、危機管理意識を持って各種点検を行い、施設の安全管理を 徹底していく。	所属長 評価	来年度から指定管理者も変わり、文化財保存活用計画の早期 策定を進める上で、「雪」に関する情報の発信拠点として効果的 な利用をより一層検討する。
今後の 方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の 方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	わくわく新庄管理事業			事務事業コード	321-204-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	皆川範雄
	施策名	1	生涯にわたる学びの推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市生涯学習センター設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項10目	わくわく新庄運営事業費	予算コード	01-100410-0200
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に令和2年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 18 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	本市における生涯学習の推進及び市民の生活文化の振興並びに社会福祉の増進を図る。	事業内容	指定管理者制度を活用し、フェスティバルや卓球大会、デジカメ教室など幅広い事業を展開する。また、多目的ホール(300名)や音楽室、実習室や会議室などを活用し市民活動の拠点として運営する。		
対象	市民				
目指す状態	本市の生涯学習を振興するために、活動の場としての提供するとともに安全で使い易い施設を目指し維持管理する。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	51,493	51,845	52,006	51,179	50,130	51,110	52,000
説明(算式等)	達成率									
活動指標	指標名称	施設稼働率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	46	47	47	47	47	44	40
説明(算式等)	達成率	115.0%	117.5%	117.5%	117.5%	117.5%	110.0%			
成果指標	指標名称	自主事業の参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	4,795	4,788	5,064	6,552	5,900	5,856	5,000
説明(算式等)	達成率	95.9%	95.8%	101.3%	131.0%	118.0%	117.1%			
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	【H30に実施した自主事業】									
	①わくわく新庄フェスティバル ②ラージボール卓球大会 ③デジカメ教室 ④坐禅会 ⑤手作り教室 ⑥そば打ち体験教室 ⑦夏休み子ども学習会 ⑧機織り体験教室 ⑨新庄祭の歴史を知ろう ⑩七所明神巡り ⑪木工細工教室									
補足説明	【R1に実施した自主事業】									
	①わくわく新庄フェスティバル ②ラージボール卓球大会 ③デジカメ教室 ④夏休み子ども学習会 ⑤そば打ち体験教室⑥ギャラリー作品展 ⑦新庄祭の歴史を知ろう ⑧七所明神巡り ⑨囲碁教室 ⑩金沢町おさいど雪祭大会 ⑪木工細工教室									
成果(どのような状態になったか)	民間の活力を導入しサービスの向上を図り、コストの軽減化を図るとともに、きめこまやかな管理運営を行った。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	17,889	58,211	17,550	17,337	25,307	17,966	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	17,889	58,211	17,550	17,337	25,307	17,966	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,093	1,015	1,006	949	1,452	1,323	修繕料	199	
内訳	正規職員(人)	0.14	0.13	0.13	0.12	0.19	0.17	指定管理委託料	17,767
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	18,982	59,226	18,556	18,286	26,759	19,289			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	平成30年度に空調用吸収冷温水器発生機分解整備修繕C=8,532千円が増工されたため、平成30年度から令和元年度にかけ事業費が減少している。								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	自主事業の他、各種事業の開催により生涯学習の推進に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	開催事業の増加もあり市民の生涯学習の振興に効果がある。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	利用者数は横ばいであるが成果の向上も見られる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	施設稼働率の余裕部分の多目的利用による収入増加を検討する。 (条例等の見直しも検討)
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	指定管理者制度により必要な人員は配置されている。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	定住自立圏の地域間連携の可能性を検討。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理制度だけでなく設備維持更新等の官民連携事業も検討する。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	空き時間の有効活用(他目的活用)の検討を行う。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策として自粛した影響もあるが、年間の利用者数は増加している。しかしながら、利用者の高齢化、サークル活動の減少が進んでいる。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

「公共施設総合管理計画」などの参考にハード・ソフト両面から安全で快適に利用できるように検討する

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
空き時間の有効活用かできるように多目的利用の方法を検討

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	施設の持続可能な管理運営方法の検討を行う必要がある。特に施設管理において、危機管理意識を持って各種点検を行い、施設の安全管理を徹底していく。	所属長評価	持続可能な施設管理方法とともに、計画的な施設の営繕を行う必要がある。効果的な生涯学習が実施できる施設として合理的な営繕を検討する必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	地区公民館管理事業			事務事業コード	322-101-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	伊藤 幸枝
	施策名	2	活き活きする地域活動の推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	社会教育法第24条				
条例・要綱等	新庄市公民館設置及び管理に関する条例・新庄市公民館設置及び管理に関する条例施行規則				
予算・事務事業名	一般会計	10款4項3目	地区公民館運営事業費	予算コード	01-100403-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 40 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	生涯学習の場としての施設環境を管理整備し、市民が利用しやすいようにする。	事業内容	施設の状態を学習の場に適するように人員を配置し、メンテナンスを定期的実施。
対象	市民(地区の住民が大半を占めている)		・萩野地区公民館 ・八向地区公民館 ・角沢ふれあい交流広場
目指す状態	市民がいろいろな場面で自発的に生涯学習を行えるように、学習の場としての施設環境を管理整備する。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()

3. 実施状況

対象指標	指標名称	地区住民数(萩野、八向地区)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績				6,841	6,707	6,570	6,423
説明(算式等)	4月1日現在 住基人口町内別一覧 市民課	達成率								
活動指標	指標名称	利用団体数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	901	822	793	710	710	697	1,000
説明(算式等)	達成率	90.1%	82.2%	79.3%	71.0%	71.0%	69.7%			
成果指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	17,498	16,451	16,792	15,696	13,938	15,796	18,000
説明(算式等)	達成率	97.2%	91.4%	93.3%	87.2%	77.4%	87.8%			

(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)

補足説明	公民館別利用団体数及び利用人数						(単位:団体、人)			
	萩野		八向		計		R2	R1	R0	R3
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数				
	26	548	12,789	353	3,527	901	17,498			
	27	495	12,686	327	3,765	822	16,451			
	28	491	13,914	302	2,878	793	16,792			
	29	434	13,133	276	2,563	710	15,696			
	30	442	11,759	268	2,179	710	13,938			
	R1	457	12,728	240	3,068	697	15,796			

成果(どのような状態になったか) 利用団体数が、減少傾向にある。

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①	22,098	10,793	17,399	11,100	14,032	11,241	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金						公民館使用料	206
	県支出金						雑入(コピー代・公衆電話料)	7
	受益者負担	292	376	305	260	243		
	その他特財							
一般財源	21,806	10,417	17,094	10,840	13,789	11,028	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	937	937	937	1,344	1,834	1,712	運営審議会委員報酬	30
内訳	正規職員(人)	0.12	0.12	0.12	0.17	0.24	嘱託職員報酬(2名)	3,688
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,808	7,906	7,640	日々雇用職員(2名)	2,186
費用合計(①+②)	23,035	11,730	18,336	12,444	15,866	12,953	需用費	749
臨時嘱託等(人)	1.59	1.59	1.59	1.59	1.59	1.59	施設管理業務委託料	1,341
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							負担金(萩野地区公民館施設管理費負担金)	

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	地区の生涯学習施設としての機能を果たしている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	地区の交流や学習のばとなっており、適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	地区の利用促進を図る余地がある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	最小限の事業費である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	雇用形態は適切である。
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	主に地区住民を対象としており、連携は考えていない。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	事業の一部を市民と協働して実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	利用者アンケートや運営審議会等で意見をいただき、課題や要望に合った事業を実施している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
①萩野地区公民館は、新たな成人向け講座や、放課後子ども教室の利用者数が前年度より伸びた。 ②八向地区公民館の移転場所について地区住民と協議を進めた結果、当面は現在の公民館を使用することとした。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

①高齢者向けの講座の企画を検討したが、コロナウイルス対策のため、実施できなかった。 ②区長会のメンバーが多く交代しているため、改めてこれまでの経過を説明し、理解をいただく予定。

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
①新たな生涯学習講座の企画の検討 ②当面、現在の公民館を利用することの合意形成と、今後の公民館のあり方について引き続き、検討していく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	八向地区公民館の改修に向け、コミュニティ助成事業の申請は行ったものの、採択ならず課題等もあり、今後も改修に向けた市の考えを地区に示す必要がある。	所属長評価	八向地区公民館の改修に向けて地区との協議、内部調整を図りながら、改修に向けた方向性を示していくとともに、萩野地区公民館については、今後の長期的な施設運営を検討していく必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	地域公民館整備助成事業			事務事業コード	322-102-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	皆川 範雄
	施策名	2	活力みなぎる地域活動の推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市地域公民館整備費補助金交付規程				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項1目	社会教育総務事業費	予算コード	01-100401-0200
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に令和2年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 24 年度 ~	(期限の定めの無い事業)	

2. 事務事業の概要

目的	地域活動の拠点となる公民館の新築、改築、土地購入及び改修などへの補助を行い、地域の社会教育活動の推進を図る。	事業内容	地域公民館の新築、増築又は改修に要する経費に対し、補助を行う。(補助金の額) (1) 新築の場合は、経費の4分の1以内の額(200万円限度) (2) 増築又は改修の場合は、経費の5分の1以内の額(100万円限度) (3) 建物取得の場合は、当該建物の取得費及び改修費の4分の1以内の額(200万円限度) (4) 敷地購入の場合は、購入費の4分の1以内の額(200万円限度)		
対象	地域公民館				
目指す	地域活動の拠点となる公民館の新築・改築・土地購入への補助を行い、地域コミュニティの活性化を図る。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	地域公民館数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	96	96	96	96	96	96	96
説明(算式等)			達成率							96
活動指標	指標名称	事業周知回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	2	2	2	2	2	2	2
説明(算式等)			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	2
成果指標	指標名称	助成町内件数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	6	7	6	4	6	8	10
説明(算式等)			達成率	60.0%	70.0%	60.0%	40.0%	60.0%	80.0%	10
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	(補助対象) 1 地域公民館の新築、増築又は改修に要する経費のうち補助の対象となるものは、地域の公民館活動の目的に使用する建物及びその仕上げ部分に対する工事費並びに附帯工事のうち電気工事、給排水工事、衛生工事及びガス配管工事に要する経費とする。ただし、その所要経費が30万円未満の場合は補助しない。 2 既設建物を取得する場合の補助対象は、建物の取得費及び改修費とする。 3 敷地を購入する場合の補助は、敷地購入年度の翌年度から5年以内に新築する計画のあるものを対象とする。 【令和元年補助町内】 ①高壇地区 ②泉ヶ丘町地区 ③下西山地区 ④東山町地区 ⑤千門町地区 ⑥鉄砲町地区 ⑦末広町地区 ⑧月岡地区									
成果(どのような状態になったか)	補助を行うことにより、地域活動の拠点施設を整備することができ、地域コミュニティの活性化を図ることができた。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①	1,000	2,978	3,500	1,413	971	3,025	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	1,000	2,978	3,500	1,413	971	3,025	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	625	625	619	632	611	622	地域公民館整備費補助	3,025
内訳	正規職員(人)	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	
費用合計(①+②)	1,625	3,603	4,119	2,045	1,582	3,647		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	R元年度は東山町地区公民館新築より予算額が増工した。							

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	地域活動の拠点整備により活動の推進に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	地域活動の拠点整備により地域の人材育成へ結びついている。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	国の補助制度の活用による耐震化など補助対象の拡充。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	自主防災組織対象事業等連携し事業展開を進める。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	他部門の補助事業と連携した事務人員を検討。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	新庄市内が対象。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	地域公民館への補助制度なので難しい。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	補助対象として実情にあっている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
例年並みの申請に、東山町公民館の新築があり地域の社会教育活動の推進が図れた。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

多額な申請(新築、増築等)を伴う場合は前年度から協議し予算化する。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
区長会で説明し周知を図った。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	地域公民館の耐震化などにも対応可能な制度改正も検討が必要。公民館は、地域活動の拠点となる施設であり、地域コミュニティの活性化を図る上でも有効な事業である。	所属長評価	毎年施設は老朽化していくので、耐震化などにも対応可能な制度として見直しを含め、地域コミュニティの活性化を図っていく有効な事業である。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	青少年育成推進員設置事業				事務事業コード	322-201-63	
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち			担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る			担当者	小山 知将
	施策名	2	活力みなぎる地域活動の推進			内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業		評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業			
法令根拠							
条例・要綱等	新庄市青少年育成推進員設置要綱						
予算・事務事業名	一般会計	10款5項1目	社会教育総務事業費			予算コード	01-100401-0200
事業期間	○ 単年度		事業年度	平成	年度	(1年限りの事業)	
	● 期間限定		始期	年度	～ 終期	R2 年度	(独自事業は基本的に令和2年まで)
	○ 単年度繰り返し(継続)		開始年度	平成	年度	～	(期限の定めのない事業)

2. 事務事業の概要

目的	青少年育成市民会議との連携及び活動推進、青少年の非行防止及び青少年に有害な環境の浄化など、各種活動を通して、地域における青少年の育成指導並びに青少年健全育成運動を推進することを目的とする。	事業内容	市内小学校区における青少年育成推進員が、教育委員会や他の青少年健全育成関係機関・団体と連携・協力し合い、様々な事業等を通じ、地域における青少年健全育成のための環境づくりと青少年育成活動への支援を行う。 主な活動としては、青少年育成市民会議事業における、高萩市児童交流事業や「だがしや楽校」への参加、街頭指導などである。 それに加え、青少年育成推進員が主催する、小学生向けの体験事業を実施している。
対象	新庄市内の青少年		
目指す状態	他地域や異年齢層との交流事業の展開、また、ボランティア活動の支援等を行うなど、地域において健全な青少年を育成するための環境づくりを推進する。		
実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内在住の青少年	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
	実績			4,312	4,232	4,191	4,158	4,046	3,863	
活動指標	指標名称	児童参加型事業の回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
	実績			3	3	3	3	3	5	5
成果指標	指標名称	活動回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
	実績			22	21	18	17	17	17	25
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	主な事業内容 ○高萩市児童交流事業：高萩市へ訪問する新庄市児童の引率・指導。高萩市から訪問する高萩市児童受入時の協力。 ○だがしや楽校の実施：子どもを対象とした体験ブース等を、「新庄市教育の日記念行事」開催時に実施。 高萩ジャンボリー参加者(高萩市への訪問) (人) 萩っ子歴史探検隊参加者(高萩市児童の受入れ) (人)									
成果(どのような状態になったか)	青少年を対象とした、各種事業、大会、研修会などに参加し、青少年育成運動の推進を行った。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)				
事業費・・・①	110	100	100	100	120	120	歳入の積算内訳				
内訳	国庫支出金						県総合交付金 5,000*10人				50
	県支出金	50	50	50	50	50					
	受益者負担										
	その他特財										
一般財源	60	50	50	50	70	70	主な歳出の内訳				
人件費・・・②	1,796	1,405	1,393	3,795	2,521	2,956	報償費 10,000円*12人				120
内訳	正規職員(人)	0.23	0.18	0.18	0.48	0.33					0.38
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640					7,780
費用合計(①+②)	1,906	1,505	1,493	3,895	2,641	3,076					
臨時嘱託等(人)											
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)											

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	青少年育成市民会議事業における高萩市児童交流事業や、だしがや楽校への参加、街頭指導などを通じ、次代の地域を支える人材の育成に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	青少年の健全育成を推進する上で、適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	青少年育成推進員数を増員したことで、例年実施している事業に加えて、新たな体験活動の実施が可能となった。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	報償費のみの予算措置となっており、削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	青少年を対象とした各種活動の中心的役割を担っており、改善の余地はない。
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	地区において、各青少年育成市町村民会議とともに連絡協議会を設置し、連携した活動をしている。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	協働して実施している事業である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	地域において健全な青少年を育成するために、地域の実情に合わせた事業となっている。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
青少年育成推進員の活動費がないため、青少年育成市民会議での事業に活動が限定されている。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

今年度は、青少年育成推進員自身が実施してみたいという主体性を基に、青少年育成に寄与する取り組み試験的に実施した。実施した取り組みに継続性を持たせるため、次年度以降も、青少年育成推進員が無理のない範囲で回数を増して実施する。また、これらの機会を活用し、青少年育成推進員と青少年ボランティアの接触機会を増やす。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
青少年育成市民会議事業での活動は継続しながら、今年度から実施した青少年育成推進員会の独自事業を継続性が持てる形で発展させていく必要がある。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	青少年育成推進員の持てる技術や機会、場を活用し、青少年育成推進員が中心となって実施する、児童・生徒向けの、青少年の健全育成に寄与する機会の創出を検討する。その機会において、高校生・青年ボランティアと連携した取り組みを実施し、将来的な青少年育成推進員の育成も念頭においた活動をする。	所属長評価	青少年育成推進員が中心となって実施する、児童・生徒向けの青少年の健全育成に寄与する機会を無理のない範囲で増加させる。その機会において、高校生・青年ボランティアと連携した取り組みを実施し、将来的な青少年育成推進員の育成も念頭においた活動をする。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	新庄市青少年育成市民会議事業			事務事業コード	322-202-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	小山 知将
	施策名	2	活力みなぎる地域活動の推進	内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項1目	社会教育総務事業費	予算コード	01-100401-0200
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に令和2年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	次代を担う青少年の健全な育成を図るため、青少年を取り巻く家庭、学校、地域、行政等が相互に連携し環境づくりを進める。		事業内容	青少年の健全育成活動に関わる諸団体と連携し、地域が広く青少年の健全育成に関わり、地域ぐるみの活動が展開されるような取り組みを展開。また、高萩市児童交流事業などを通して、他地域との交流も図る。 ①高萩市との児童交流 ②地域青少年健全育成助成事業		
対象	市民・市域の青少年			実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 全部委託
目指す状態	地域がより積極的に青少年の健全育成に関心を持ち、活動に関わる社会環境づくりを推進する。		<input type="checkbox"/> 補助・負担		<input checked="" type="checkbox"/> 市民協働	<input type="checkbox"/> 指定管理
			<input type="checkbox"/> 事務局	<input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内在住の青少年	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	4,312	4,232	4,191	4,158	4,046	3,863	3,810
説明(算式等)	7~18歳	達成率								
活動指標	指標名称	事業の実施回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	20	21	22	23	22	19	22
説明(算式等)	達成率	90.9%	95.5%	100.0%	104.5%	100.0%	86.4%			
成果指標	指標名称	事業の参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	1,295	1,470	1,408	1,085	1,368	1,714	1,360
説明(算式等)	達成率	95.2%	108.1%	103.5%	79.8%	100.5%	126.0%			

(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)

No.	事業名	人数	No.	事業名	人数	No.	事業名	人数	合計	
1	総会	50	8	青少年健全育成助成事業③	220	15	青少年ボランティア助成②	19	事業実施数	19
2	高萩ジャンボリー	52	9	青少年健全育成助成事業④	1850	16	青少年ボランティア助成③	11	事業参加者数	1714
3	萩っ子歴史探検隊	38	10	街頭指導	4	17	中学生ボランティアリーダーセミナー開催	20		
4	教育の日記念行事	-	11	社会を明るくする運動への支援	-	18	県民大会参加	18		
5	あいさつ運動	190	12	青少年成功労者表彰	2	19	きずな写真展	-		
6	青少年健全育成助成事業①	40	13	家庭教育相談の日	-					
7	青少年健全育成助成事業②	300	14	青少年ボランティア助成①	42					

成果(どのような状態になったか)

事業を実施することにより、青少年の健全育成のための社会環境づくりが推進された。

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費 … ①	1,388	1,356	1,384	1,422	1,402	1,373	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金						一戸あたり100円の会費及び雑入等		1,373
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財	1,388	1,356	1,384	1,422	1,402	1,373		
一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳		
人件費 … ②	1,796	1,796	1,780	2,609	1,375	2,956	事務費	116	
内訳	正規職員(人)	0.23	0.23	0.23	0.33	0.18	0.38	広報費	183
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	健全育成活動費	702
費用合計(①+②)	3,184	3,152	3,164	4,031	2,777	4,329			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	令和元年度は、職員の育休対応で、担当する者が2人体制となったため、人件費の算定が高くなった。								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	地域、学校、行政等が相互に連携して青少年の健全育成に関わることは、施策に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	次代を担う青少年の健全な育成を図るには適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	青少年の健全育成に関わる関係者や団体がさらに連携することによって、より積極的に活動に関わる環境づくりが推進される。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	人口が減少傾向にあるため、会費が年々減少しており、毎年必要最低限度の予算内で事業を行っているため、削減の余地がない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	事務局を市で担っており、必要な人員である。また、青少年の健全育成に係る関係者や団体との調整が必要であり、現時点では市が担うべきと考える。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	地区での各青少年育成市町村民会議と、青少年育成推進委員会が連絡協議会を設置しており、連携している。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	青少年に健全育成に関わる関係者や団体と協働しながら実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域、学校、行政等が相互に連携して広く青少年の健全育成に関わる事業を実施している。

CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
人口の減少傾向により、将来的な会費収入の減少が懸念される。

8. 課題解決に向けた現時点における
取り組み状況

青少年育成県民会議で取り組みを終了した事業などは、市民会議でも取り組みを終了している。また、地域が積極的に青少年の健全育成に関心を持ち、活動に関わる社会環境を作っていくために、青少年健全育成助成事業の募集回数を増やした。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
会費収入の減少を想定して、一定の役割を終えた事業は廃止し、新たな課題に対する事業に対して予算を振り分けること等が必要となってくる。

ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	市民に対して青少年健全育成助成事業など周知し、協力を得ながら事業を実施していくことが必要である。	所属長評価	市民に対して青少年健全育成助成事業など青少年の育成活動を周知し、市民の協力を得ながら事業を実施していくことが必要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	成人式開催事業			事務事業コード	322-203-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	小山 知将
	施策名	2	活力みなぎる地域活動の推進	内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項1目	成人式開催事業費	予算コード	01-100401-0400
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	式典の開催により、新成人になったことを祝い、自覚を促し、地域を支える人材の育成を目的としている。	事業内容	新庄市民歌斉唱や主催者あいさつ、新成人代表のこぼれ等の式典開催に加え、令和元年度より、新成人が実行委員となる実行委員会を組織し、アトラクションの企画・実施を行い、人材育成のきっかけとする。		
対象	市内在住及び市内中学校卒業生の成人(満20歳)				
目指す状態	成人式を機に、成人としての自覚並びにふるさとへの醸成を促すことを目指している。		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	成人対象者数(人)	年度							R1	R2見込	
			H26	H27	H28	H29	H30	R1				
	実績	445	493	444	438	403	416	380				
	達成率											
活動指標	指標名称	式の開催	年度							R1	R2計画	
			H26	H27	H28	H29	H30	R1				
	実績	1	1	1	1	1	1	1	1			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	1			
成果指標	指標名称	成人式参加率(%)	年度							R1	R2目標	
			H26	H27	H28	H29	H30	R1				
	実績	69	67	72	70	74	69	75				
	達成率	91.7%	89.7%	96.0%	93.3%	98.6%	92.3%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)											
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
		対象者数	489	445	492	491	445	493	444	438	403	416
		参加者数	328	299	362	344	307	332	323	309	299	288
		参加率	67%	67%	74%	70%	69%	67%	73%	71%	74%	69%
成果(どのような状態になったか)	会場を市民プラザから文化会館へ変更したことにより、家族も参加することができた。成人式の認識は高く、昨年度に引き続き、参加率も約7割と高い割合であった。											

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	57	60	62	55	111	105	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	57	60	62	55	111	105	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	926	1,796	1,161	1,935	1,936	1,789	報償費	4	
内訳	正規職員(人)	0.11	0.23	0.15	0.25	0.18	0.23	消耗品費	65
	1人当たり単価	8,418	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	通信運搬費	36
費用合計(①+②)	983	1,856	1,223	1,997	1,998	1,894			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

(DO) 実行

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input type="radio"/> 結びついている <input checked="" type="radio"/> 見直しの余地がある	新成人としての自覚を促し、地域を支える人材を育成することは、施策の活力みなぎる地域活動の推進に結びついている
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	成人としての自覚を促すために、新成人を対象としているのは適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	現状でも高い参加率となっている。新成人による実行委員会形式をとるなど、新成人がより主体的に式典に関わる仕組みをとることにより成果の向上が見込める。
	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	現状でもかなり削減しており、これ以上の削減は事業を遂行する上で、困難になる。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	業務量が多いため、企画・運営をしていく上で困難。
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	対象者が市内在住及び市内中学校卒業生の新成人であるため。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	高校生ボランティア等から協力を得ながら運営している。式典を実行委員会形式にするなど、官民協働しての開催が可能である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	新成人に成人としての自覚を持ってもらう機会となっている。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
新成人として、成人式をきっかけとした地域を支える人材の発掘・育成を現在より効果的に実施するための、実行委員会を組織し、式典のアトラクション部分の企画・運営を行ってもらった。その結果、実行委員会を始めとした新成人が主体的な式となった。 また、実行委員会の様子を市報等で紹介することにより、青年層の見える化につながった。 しかし、実行委員会組織、企画構想が年度内となるため、一般財源の節ごとに分けられており、実行委員会の企画の自由度が下がってしまっていた。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

令和元年の時点で、成人式実行委員会に興味のある対象者に声掛けを行い、スムーズな実行委員会の組織づくりを行えるようにするとともに、実行委員会の予算を負担金とした。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
令和2年度も継続して、実行委員会の組織を行うとともに、予算項目を式典部分は節ごとに置き、実行委員会の企画・実施の部分の予算を負担金とする。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	新成人などによる実行委員会の組織化に向けて、青年層の協力を得ながら式典を進めていく必要がある。	所属長評価	より新成人が主体性を持てるよう、企画実施する実行委員会に自由と責任を持たせながら、式典を実施していく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	高校生ボランティア体験事業			事務事業コード	322-204-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	小山 知将
	施策名	2	活みなぎる地域活動の推進	内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項1目	社会教育総務事業費	予算コード	01-100401-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	将来的に地域で活動する人材の育成	事業内容	社会教育課が事務局となっている高校生ボランティアサークル「しずく」を平成26年度に再開。平成25年度より実施した登録制も継続し、中学生や高校卒業後の青年層も含めたボランティア活動の体験機会の増加を図る。		
対象	高校生及び青少年		また、学校単位でのボランティア活動についても支援しながら、地域社会において公益的な活動をする人材を育てるために、地域活動団体や青年グループとも交流・連携しながら活動を行う。		
目指す状態	高校生を中心とした青少年がボランティア活動を実施することで、将来、地域社会において公益的な活動を展開できる人材の育成を目指す。		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内高等学校生徒数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込																									
			実績	1,739	1,680	1,724	1,694	1,625	1,567																										
説明(算式等)	達成率																																		
活動指標	指標名称	ボランティア活動を行った回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画																									
			実績	34	45	65	76	94	56	40																									
説明(算式等)	達成率	85.0%	112.5%	162.5%	190.0%	235.0%	140.0%																												
成果指標	指標名称	しずく登録者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標																									
			実績	32	40	51	37	34	42	35																									
説明(算式等)	達成率	91.4%	114.3%	145.7%	105.7%	97.1%	120.0%																												
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																		
	・主体的に活動するボランティアサークルを再開しつつ、手上げ方式で参加する登録ボランティアも実施した。																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ボランティア区分</th> <th>人数</th> <th>対象</th> <th>区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新庄市高校生ボランティアサークルしずく</td> <td>42</td> <td>高校生</td> <td>サークル</td> <td>サークル運営、依頼ボランティア、自主企画などを実施</td> </tr> <tr> <td>登録制ボランティアしずくR</td> <td>11</td> <td>青年・高校生</td> <td>登録ボランティア</td> <td>ボランティア体験として依頼ボランティアを中心に活動</td> </tr> <tr> <td>中学生ボランティアしずくJr</td> <td>17</td> <td>中学生</td> <td>登録ボランティア</td> <td>ボランティア体験として依頼ボランティアを中心に活動</td> </tr> <tr> <td>青年ボランティアサークルoldrop</td> <td>19</td> <td>青年</td> <td>サークル</td> <td>サークル運営、依頼ボランティア、自主企画などを実施</td> </tr> </tbody> </table>										ボランティア区分	人数	対象	区分	備考	新庄市高校生ボランティアサークルしずく	42	高校生	サークル	サークル運営、依頼ボランティア、自主企画などを実施	登録制ボランティアしずくR	11	青年・高校生	登録ボランティア	ボランティア体験として依頼ボランティアを中心に活動	中学生ボランティアしずくJr	17	中学生	登録ボランティア	ボランティア体験として依頼ボランティアを中心に活動	青年ボランティアサークルoldrop	19	青年	サークル	サークル運営、依頼ボランティア、自主企画などを実施
	ボランティア区分	人数	対象	区分	備考																														
	新庄市高校生ボランティアサークルしずく	42	高校生	サークル	サークル運営、依頼ボランティア、自主企画などを実施																														
	登録制ボランティアしずくR	11	青年・高校生	登録ボランティア	ボランティア体験として依頼ボランティアを中心に活動																														
中学生ボランティアしずくJr	17	中学生	登録ボランティア	ボランティア体験として依頼ボランティアを中心に活動																															
青年ボランティアサークルoldrop	19	青年	サークル	サークル運営、依頼ボランティア、自主企画などを実施																															
成果(どのような状態になったか) ボランティア活動を実施する中で、公益的視点を養うきっかけづくりができた。																																			

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	30	74	140	186	176	146	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	30	74	140	186	176	146	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	1,327	2,342	2,167	3,400	2,521	2,956	消耗品	118	
内訳	正規職員(人)	0.17	0.30	0.28	0.43	0.33	0.38	保険料	28
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	1,357	2,416	2,307	3,586	2,697	3,102			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	施策の「活力みなぎる地域活動の推進」のためには、次代の地域を担う青少年層の人材育成が必要である。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	次代の地域を支える人材の育成に合致するため適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	高校生が、より主体性をもった活動となるよう検討が必要である。また、高校生のボランティアに繋げるために、中学生層の掘り起こしも並行して行っていく必要がある。
	④成果を下げずに事業費を 削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	効果的な活動を実施するためには削減の余地がない。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	行政が直接関わる必要のある事業のため適正だが、青少年層の人材育成には地域や青少年育成推進員などより多くの人員が必要である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	ボランティア体験活動においては一部連携して実施している。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	活動において、地域で活動している異世代の方々と協働している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	将来の地域を担う人材の育成につながり、地域の課題や実情に合った事業である。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
各学校でも学校管理下でのボランティア活動は活発であるが、より主体性を持った活動をするためには、県で推奨している山形方式(YVボランティア)と言われる、学校の枠を超えた地域を単位とする活動が有効である。また、継続的に、より効果的な活動をしていくためには、中学生世代からの関わりや、高校卒業後の青年層の関わりが重要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

主体的な活動を目指すボランティアサークル活動とともに、気軽にボランティア体験のできる登録ボランティア制を継続していく。 中学生世代については、中学生だけのボランティア活動に加えて、ロールモデルとなる高校生世代と合同の活動も実施していく。 さらに、青年層については、サークル運営を支援し、高校卒業後も活動できる機会を作っていく事により、将来的に地域で活動する人材の育成を行っていく。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
各学校のボランティア活動や各青少年ボランティアサークルとも情報交換・連携しながら、地域でのボランティアサークル活動を推進していく。また、高校生のボランティア活動に繋げていくため、地域とのつながりが薄れてくる年代と言われる中学生世代からのボランティア体験活動を実施していく。さらに、次代の地域を担う人材の育成につなげるため、高校卒業後の青年層によるボランティアサークルについても支援していくなど、青少年が継続的に地域に関わる活動を検討していく。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	中学生から青年へと継続してボランティア活動に関わる仕組みを整えていく。また、青年ボランティアサークルのメンバーが青少年育成推進員となり、後進を育成するなどの仕組みも検討していく。	所属長評価	小学生から青少年育成に関わる成人までの人材育成の流れを構築するためにボランティア事業の仕組みを整理するとともに、高校卒業時や大学卒業時、就職時、20代後半など、市内に残った青年と市外で転出した青年への関わり方も検討していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	市民活動支援事業			事務事業コード	322-205-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	伊藤 洋一
	施策名	2	活きみなぎる地域活動の推進	内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項2目	市民プラザ管理事業費	予算コード	01-100402-0500
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に令和2年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	地域社会の課題解決や発展のために市民活動団体が行う様々な活動を支援し、地域を支える人材・団体の育成を行う。	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動に必要な機材の提供 ・市民活動に関する相談、情報提供 ・市民活動のスキルアップ講座の実施 ・活動に必要な資金獲得のサポート 		
対象	社会貢献を目的として活動している個人、公益的団体、企業		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 全部委託
目指す	市民活動交流ひろばを拠点に、市民活動に必要な情報の収集や市民団体の交流を深め、互いの活動を高めるネットワークができています。	<input type="checkbox"/> 補助・負担		<input type="checkbox"/> 市民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理
		<input type="checkbox"/> 事務局		<input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	37,202	36,904	36,833	36,507	36,028	35,465	35,100
説明(算式等)	達成率									
活動指標	指標名称	ぶらっと利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	2,585	2,713	2,687	1,572	1,664	1,713	3,200
説明(算式等)	設備利用・作業1,713人、相談・その他313人		達成率	80.8%	84.8%	84.0%	49.1%	52.0%	53.5%	
成果指標	指標名称	市民活動に対する支援が充実していると答えた割合(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	16	16	15	15	14	12	20
説明(算式等)	まちづくり市民アンケート		達成率	80.0%	80.0%	75.0%	75.0%	70.0%	60.0%	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	■毎月、市報において活動団体の紹介(計12回)									
成果(どのような状態になったか)	前年度に対して若干ではあるが利用者数が増えており、市民協働を進めるための人材・団体の育成につながっている。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①	4,848	4,673	4,844	0	0	0	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担	1,070	1,029	1,020				
	その他特財							
一般財源	3,778	3,644	3,824				主な歳出の内訳	
人件費・・・②	1,718	1,015	1,316	1,935	1,936	622	指定管理料に含む	
内訳	正規職員(人)	0.22	0.13	0.17	0.25	0.08	0.08	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	
費用合計(①+②)	6,566	5,688	6,160	1,935	1,936	622		
臨時嘱託等(人)	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00		
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	H29年度より指定管理者へ移行							

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	市民・団体等の育成・支援に直結するものである。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市民・団体の育成に一定の成果が見られるが、今後は地域コミュニティ活性化に必要な人材の育成や、ネットワークづくりが求められる。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	機材の貸し出しや相談業務などを通じて、市民活動の支援を行っており、一定の成果はあるものの、地域を支える人材・団体の育成についてはさらなる成果向上の余地がある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	休日における人員配置など最小限の事業費であり、消耗品についても、設備使用料(収入)に応じたものとなっていない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	機材の貸し出しや、相談業務など最低限の人員配置である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	最上地区でも唯一の市民活動支援のための施設であり、使用料の段階設定等により、当市以外の市民団体等も活用できる仕組みづくりも可能である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	ソフト事業においては協働での取組が可能である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域の課題解決のために市民活動を行う団体の支援をしており、実情にあっている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
機材の貸し出しや相談業務などを通じて、市民活動の支援を行っており、一定の成果はあるものの、地域を支える人材・団体の育成についてはさらなる成果向上の余地がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

市民活動交流広場ぶらっとは平成29年度より指定管理者へ事業を委託している。民間事業者の有するノウハウを活用しながら、効果的な事業実施を検討していく。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
事業目的である「地域を支える人材・団体の育成」のために、市民活動団体のスキルアップを図る講座の充実や、市民活動団体同士がお互いの活動を高め合えるようなネットワークの形成などと並行し、新規の利用者や利用団体を育成していく必要がある。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	指定管理者の事業としてメリットを生かして施設利用者の増加につながる仕組みを進めるとともに、市民活動団体のスキルアップを図る講座の充実や団体間のネットワーク形成など効果的な事業の実施に努めていく。また、活動支援を実施していることの周知をもっと図っていく必要がある。	所属長評価	指定管理者の事業としてメリットを生かして、市民活動団体のスキルアップや団体間のネットワーク形成など進めていく。また、活動支援を実施していることの周知をさらに図ることで、新たな利用者や活動団体の育成も進める必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 基本目標, 担当課, 政策名, 担当者, 施策名, 内線, 事業区分, 評価区分, 法令根拠, 条例・要綱等, 予算・事務事業名, 予算コード, 事業期間.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態. Includes details on career learning opportunities and cultural activities.

3. 実施状況

Table with 10 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, R2見込. Includes sub-tables for activity indicators and achievement indicators.

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 8 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, 事業費の算出根拠(R1). Includes breakdown of expenses and personnel costs.

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	新庄市のまつり・歴史・民俗・文化芸術を紹介する総合的な施設として開館している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	市民に対して民俗文化の振興を図っている。また、観光客に対しては、新庄まつりを中心とした、地域の魅力を発信しており、適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	企画展のPRなど、発信に力を入れることで、来場者の増加が期待できる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input type="radio"/> 削減の余地がない <input checked="" type="radio"/> 削減の余地がある	今後、備品購入などの経費の支出がなければ、事業費をおさえることができる。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input type="radio"/> 改善の余地がない <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある	学芸員の配置が必要である。実施形態については、文化団体等との連携を考慮すると、現時点では直営が望ましい。
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	展示品の貸し借りにより連携は実施している。ただし、美術品等については、移送時の破損や保険料などの問題が発生する。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	展示品の賃借、展示の協力、歴史講座等は協働を実践している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	若者の流出の歯止めとして、郷土愛を醸成することによる定住促進を目指している。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
来場者の増加には、魅力ある企画展の開催・常設展の展示替えなどが必要なため、収蔵品の管理も含め、学芸員の配置が望ましい。また、情報発信を多くすることも必要。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

・パンフレットに年間予定を折込 ・新聞やTVに取り上げてもらうよう、折にふれ要請 ・市のホームページ上で企画展のスライドショーをアップ

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
さまざまな、媒体を活用し、ふるさと歴史センターの魅力を情報発信する。また、ふるさと歴史センター独自のホームページを開設する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	魅力ある企画展を計画し、市報、ホームページ、SNS等を活用し、常設展や企画展、施設の情報発信を行い、来館者の増加につなげていく必要がある。	所属長評価	市の伝承文化を伝える施設とともに市の観光施設としての面もあり、魅力ある企画展を計画し、市報、ホームページ、SNS等を活用し、常設展や企画展、施設の情報発信を行い、来館者の増加につなげていく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	ふるさと歴史センター管理事業			事務事業コード	323-102-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	佐藤 勝幸
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	22-2188
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市都市公園条例、新庄市山車会館及び新庄市歴史民俗資料館の管理及び使用に関する規則				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項8目	ふるさと歴史センター管理事業費	予算コード	01-100408-0200
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	● 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 58 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	施設の維持管理	事業内容	電気設備や消防設備等は法令等に基づいて専門業者に点検を委託する。日常的な点検は職員が実施する。		
対象	市民及び観光客				
目指す状態	施設の適正な維持管理によって安全かつ快適な観覧環境を提供するとともに、収蔵資料及び展示品の安定的な保存状態を確保する。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	設備点検・施設維持項目	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
			実績	9	9	9	9	9	9	9	9
説明(算式等)	達成率									9	
活動指標	指標名称	開館日数(日)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
			実績	306	307	306	308	309	309	309	306
説明(算式等)	達成率	100.0%	100.3%	100.0%	100.7%	101.0%	101.0%	101.0%			
成果指標	指標名称	入館者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
			実績	14,603	12,433	13,143	13,591	10,892	12,331	15,000	
説明(算式等)	達成率	97.4%	82.9%	87.6%	90.6%	72.6%	82.2%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
		【設備点検項目】					【施設等維持項目】				
			消防設備					収蔵品燻蒸			
			電気・空調設備					定期清掃			
			照明設備					警備業務			
			吊物点検								
			エレベーター								
			自動ドア								
成果(どのような状態になったか)	施設の設備等を適正に管理し、安全かつ快適な観覧環境を提供するとともに、収蔵資料及び展示品の安定的な保存状態を確保することができた。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	24,262	20,596	23,664	21,952	35,166	22,120	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金			3,354	146			使用料(観覧料)	2,051
	県支出金							雑入(目的外使用料)	311
	受益者負担	3,886	2,763	2,866	3,047	2,131	2,362		
	その他特財								
一般財源	20,376	17,833	17,444	18,759	33,035	19,758	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	3,670	2,811	2,864	2,925	2,827	2,879	日々雇用職員賃金	1,405	
内訳	正規職員(人)	0.47	0.36	0.37	0.37	0.37	0.37	燃料費	1,336
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	光熱水費	5,965
費用合計(①+②)	27,932	23,407	26,528	24,877	37,993	24,999	修繕料	1,493	
臨時嘱託等(人)	1.00	1.00	1.00	2.00	1.80	0.90	施設管理業務委託料	7,659	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	H30に実施した屋根塗装工事の減少と、地域おこし協力隊経費の減少のため						自動車購入費	2,884	

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	施設を適正に維持管理し、入館者の安全を確保することは、収蔵・展示し文化 芸術の振興を図る前提となる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	施設の管理事業であり、適切に実施した。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	施設の老朽化が進んでおり、改修工事等を実施することで、快適な観覧環境 の向上が見込まれる。
	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	施設の老朽化により、事業費の増加が見込まれるため、削減は困難である。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	維持管理と企画展等運営業務を切り離すことはできないため、現行の人員及 び実施形態は適正である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	市有施設の維持管理のため、他自治体との連携はできない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	施設の維持管理は、協働に馴染まない。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域の文化芸術の振興に寄与している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
計画的な改修工事が必要。特に、空調設備に不具合があり、早急な対応が必要。

8. 課題解決に向けた現時点における
取り組み状況

R1年度の繰り越し事業として、空調 設備の改修設計に着手している。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
次期中期財政計画に、施設改修を反映させる。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長 評価	不特定の人が来館する有料施設であるため、安全で快適な環 境づくりに努めなければならない。	所属長 評価	不特定の人が来館する市の歴史・伝承文化の紹介と観光に関 わる有料施設であるため、安全で快適な環境づくりに努めな ければならない。特に、空調設備等の改修については、市民文化 会館との関係もあり、十分に検討のうえ計画的に対処してい かねなければならない。
今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の 方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	重文旧矢作家住宅管理事業			事務事業コード	323-103-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	佐藤 勝幸
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	22-2188
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	重要文化財旧矢作家住宅の設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項7目	重文旧矢作家住宅管理事業費	予算コード	01-100407-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	優れた文化遺産を後世へ残す。	事業内容	最上地方における江戸時代中期の農家住宅の構造が見られる貴重な建造物として、国の重要文化財に指定された「旧矢作家住宅」の安定的な維持管理と、文化財の活用として一般公開に努める。		
対象	市民、観光客及び管理団体				
目指す状態	国の重要文化財に指定されている「旧矢作家住宅」の適切な維持管理と、見学者への案内・対応、安全の確保。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
			実績	2	2	2	2	2	2	
	旧矢作家管理委員会の開催数(回)	達成率								
活動指標	旧矢作家住宅の公開日数(日)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
		実績	209	210	209	209	209	209	210	
		達成率	99.5%	100.0%	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%		
成果指標	旧矢作家住宅の見学者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
		実績	1,498	1,144	1,476	1,174	991	960	1,600	
		達成率	93.6%	71.5%	92.3%	73.4%	61.9%	60.0%		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
成果(どのような状態になったか)	国の重要文化財等の適切な維持管理と、見学者への案内・対応、安全の確保を図ることができた。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	6,282	1,842	1,908	3,353	2,425	5,384	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金			247					
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	6,282	1,842	1,908	3,106	2,425	5,384	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,718	1,327	1,626	1,344	1,299	1,323	管理委員会委員報酬	39	
内訳	正規職員(人)	0.22	0.17	0.21	0.17	0.17	0.17	日々雇用職員賃金	966
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	謝金(燻蒸、雪囲い)	149
費用合計(①+②)	8,000	3,169	3,534	4,697	3,724	6,707	需用費	3,576	
臨時嘱託等(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	0.61	0.60	通信運搬費	47	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	屋根(雨漏り)修繕費の増加						委託料	607	

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	市は先人達が残してきた優れた文化遺産を後世に残していく責務がある。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	国指定文化財の維持管理事業であり、適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	計画的に修繕を行い、案内を増やすことで、観覧者が増える可能性がある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	今後、修繕費の増が見込まれ、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	最少人数で対応しており、適正である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	特に茅屋根について、職人の育成について連携していく必要がある。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	管理委員会委員に意見をいただき、また、雪囲い作業なども協力いただいている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	旧矢作家住宅は地域でも重要な文化財との認識があり、維持管理は実情にあった事業となっている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
茅屋根について、早急な葺き替えが必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

改修計画を作成し、令和2年度から調査、設計、改修を進めることとしている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
補助事業だけでは難しいため、単費を投入することで、早期の改修が可能となる。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	茅屋根の葺き替えについて、早急な対応が必要となっている。他の国の指定文化財との改修計画などを勘案しながら、国の補助事業の実施を検討していく必要がある。	所属長評価	茅屋根の葺き替えについて、早急な対応が必要となっている。改修計画に合わせ、国の補助事業も活用しながら、単独でも改修を進めていく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	ふるさと歴史センター資料収集、保存、調査研究事業			事務事業コード	323-104-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	佐藤 勝幸
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	22-2188
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項8目	ふるさと歴史センター管理事業費	予算コード	01-100408-0600
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に令和2年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 昭和 58 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	収蔵資料の適切な保存管理・調査研究	事業内容	未整理資料・収蔵品の整理。館内のどこに、どんな資料が、どれだけ収蔵されているか、という基本情報を短時間で検索できる体制の構築。		
対象	歴史センター収蔵資料、小中学生、市民及び研究者				
目指す状態	収蔵資料の適切な保存管理・調査研究によって、資料の積極的活用を図る。未整理資料・収蔵品の整理。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	整理済資料件数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
			実績	100,942	101,778	102,739	103,715	104,291	104,604	112,000	
説明(算式等)		達成率									
活動指標	指標名称	古文書整理従事者数(延/年)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
			実績	120	116	96	94	94	90		
説明(算式等)		達成率									
成果指標	指標名称	年間の資料整理・データ化件数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
			実績	1,858	807	961	976	569	313	1,400	
説明(算式等)		達成率	132.7%	57.6%	68.6%	69.7%	40.6%	22.4%			
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
成果(どのような状態になったか)	未整理資料・収蔵品の整理が進んだ。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	2,395	1,954	1,438	1,452	1,453	1,435	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	2,395	1,954	1,438	1,452	1,453	1,435	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	2,420	1,640	1,703	712	688	700	日々雇用職員賃金	1,405	
内訳	正規職員(人)	0.31	0.21	0.22	0.09	0.09	0.09	委託料	30
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	4,815	3,594	3,141	2,164	2,141	2,135			
臨時嘱託等(人)	2.00	1.50	1.00	1.00	0.90	0.90			
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	収蔵品の調査・整理等が本施設の重点事項であり、収蔵品の有効活用により文化振興に結びつく。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	収蔵品を活用するためには、調査・整理が必要である。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	古文書については、ボランティアの方々を中心に調査・整理を実施し、データ化については、日々雇用職員が対応している。古文書の解読については、専門性が求められるため、現在の体制では、成果向上は難しい。
	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	ボランティアによる調査・整理の状況であり、事業費削減は困難である。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	必要最小限の人員で対応している。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	当館の収蔵資料である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	本市に関わる資料であり、調査することで、地域史の解明につながる。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
未整理収蔵品は古文書がほとんどであり、現時点ではボランティアの協力が欠かせない。整理を早めるためには、古文書解読の委託を拡大する必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

古文書研究会と協議中。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
ボランティアの増員が図られるか、相手方と協議する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	収蔵品の調査・整理等は重点事項であるが、資料整理に時間がかかり資料整理の方法を検討し、効率的に行う必要がある。	所属長評価	収蔵品の調査・整理等は重点事項であるが、特に古文書については知識が必要であり、資料整理に時間がかかる。ボランティアの方々や連携し、ボランティアの増員や新たに知識を有する人材を育成する機会を設けるなども検討しながら継続していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	民話普及事業			事務事業コード	323-105-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	佐藤 勝幸
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	7605
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項8目	ふるさと歴史センター事業費	予算コード	01-100408-0600
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に令和2年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 昭和 61 年度~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	先人の知恵の結集ともいえる民話を通して、地域の自然・歴史・文化を守り、伝承していく。	事業内容	新庄民話の会との協働事業を基本に、語り手に発表の機会を増やす。		
対象	民話、地域住民及び県内外の民話愛好者				
目指す状態	新庄・最上の民話の普及、語り手育成。“民話のふるさと・新庄”の確立。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	新庄・最上に伝わる民話の数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	500	500	500	500	500	500	500
説明(算式等)			達成率							500
活動指標	指標名称	語り実践学校(校)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	5	3	3	4	4	4	4
説明(算式等)			達成率	100.0%	60.0%	60.0%	80.0%	80.0%	80.0%	5
成果指標	指標名称	語りの日観客数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	600	570	451	335	274	282	650
説明(算式等)			達成率	92.3%	87.7%	69.4%	51.5%	42.2%	43.4%	650
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	語り実践学校(民話伝承活動)									
	・萩野学園									
	・北辰小学校									
	・本合海小学校									
	・升形小学校									
民話まつり										
夏語り、秋語りとして年2回、各1日開催										
成果(どのような状態になったか)	民話まつり夏語り及び語り実践学校の発表会(こども語りまつり)の参加者が増え、小学生や民話愛好者に普及ができた。なお、秋語りについては、台風の影響を受け、参加者は前年より少ないものとなった。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	432	729	429	426	423	420	事業費の算出根拠(R1)		
内訳	国庫支出金						歳入の積算内訳		
	県支出金	300	300	300	300	150	市町村総合交付金(伝統芸能育成事業)		
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	132	429	129	126	123	270	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	2,420	1,640	1,703	1,344	1,299	1,323	山形ふるさと塾実行委員会負担金		
内訳	正規職員(人)	0.31	0.21	0.22	0.17	0.17	0.17	語りの部屋謝金	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	2,852	2,369	2,132	1,770	1,722	1,743			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	先人の知恵の結集ともいえる民話を通して、地域の自然・歴史・文化を守り、 伝承していくことにより、文化振興につながる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	小学生のうちからが民話に触れることにより、語り手育成・民話の伝承につな がり、適当である。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	これまでも十分成果が出ており、これまで以上の向上は見込めない。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	山形ふるさと塾の事業を精査し、若干の負担金の減少は可能。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	必要最小限の人員で行っており、また新庄民話の会の協力は不可欠なもので あり、適正である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	近隣の市町村に民話に関する事業及び団体はないため、連携できない。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	「新庄民話の会」と実践している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	「民話のふるさと新庄」を掲げている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
新庄民話の会との連携協働による事業・活動が有効に機能しているが、民話の会の会員が高 齢化しており、今後も民話の会と連携して会員拡大、語り手の育成に努めていく必要がある。 また、小学校の統廃合により、語り実践校の減少が予想されるため、大規模校での実践が必要 である。

8. 課題解決に向けた現時点における
取り組み状況

新庄民話の会の総会及び例会に出 席。 会員拡大に向けた、広報等での支 援。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
新庄民話の会との継続した連携。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長 評価	新庄・最上に伝わる多くの民話は、貴重な文化財であるといえ る。「新庄民話の会」と連携・協働を深めながら、民話の伝承と 普及を図っていく必要がある。	所属長 評価	新庄・最上に伝わる多くの民話は、貴重な文化財であるといえ る。「新庄民話の会」と連携・協働を深めながら、民話の伝承と 普及を図っていく必要がある。
今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	文化財保護管理事業				事務事業コード	323-106-63		
総合計画	基本目標	3 ふれあい、学びあい、心をつなぐまち				担当課	社会教育課	
	政策名	2 互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る				担当者	佐藤 勝幸	
	施策名	3 市民が輝く文化芸術の振興				内線	22-2188	
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業				評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業		
法令根拠								
条例・要綱等								
予算・事務事業名	一般会計	10款5項6目	文化財保護管理事業費			予算コード	01-100406-0100	
事業期間	○ 単年度		事業年度	平成	年度	(1年限りの事業)		
	○ 期間限定		始期	年度	～ 終期	年度	(独自事業は基本的に令和2年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度	平成	年度	～	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	優れた文化遺産を後世へ残す。	事業内容	関係団体との協議のもと、市内に存在する文化財の安定的な維持管理に努める。		
対象	市民、観光客、国・県・市指定文化財、保存団体及び所有者				
目指す状態	建造物等有形文化財及び史跡、天然記念物の適切な維持管理と、見学者への案内や安全の確保。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	文化財の数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
			実績	53	53	53	53	53	58		
説明(算式等)	達成率										
活動指標	指標名称	市文化財保護審議会の開催回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
			実績	1	1	0	1	1	3	1	
説明(算式等)	達成率	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	300.0%				
成果指標	指標名称	国の文化財(戸沢家墓所、八幡神社)への見学者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
			実績	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	47,000	
説明(算式等)	達成率	95.7%	95.7%	95.7%	95.7%	95.7%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
成果(どのような状態になったか)	重要文化財等の適切な維持管理と、見学者への案内・対応、安全の確保を図ることができた。										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	33,950	3,932	7,021	44,189	22,950	13,547	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金	12,636			17,034	10,329	5,081	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金	5,081
	県支出金	1,263	2,236		1,703	1,032	508	山形県文化財保護事業費補助金	508
	受益者負担							市債	3,000
	その他特財					8,300	3,000		
	一般財源	20,051	1,696	7,021	25,452	3,289	4,958	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	781	781	2,555	3,321	3,209	3,268	報酬	1,871	
内訳	正規職員(人)	0.10	0.10	0.33	0.42	0.42	0.42	需用費	156
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	施設管理業務委託料	215
費用合計(①+②)	34,731	4,713	9,576	47,510	26,159	16,815	測量設計業務委託料	3,883	
臨時嘱託等(人)	1.00			1.00	0.80	0.80	工事請負費	6,281	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	戸沢家墓所の屋根葺替工事請負費、設計監理業務委託料の減少による。								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	市は、先人達が残してきた優れた文化遺産を後世に残していく責務がある。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	指定文化財の維持管理事業であり適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	次号に成果向上のためには、一般財源の増額が必要である。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	維持管理・修理に経費がかかり、削減は困難である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	最小人員で対応している。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	文化財の保存、修理の技術者育成について、連携が必要である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	文化財の保護・保存・伝承については、所有者等関係団体と協働で行っている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域の優れた文化遺産を後世に残していく事業である。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H1実績評価)
戸沢家墓所について、国の補助採択の関係により、保存活用計画に遅れが出ている。 また、八幡神社の修繕について、所有者負担の財源問題などもあり、進んでいない。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

保存活用計画記載の年次整備計画に基づき、補助事業を要望している。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H1実績評価)
新庄市にある文化財について、文化庁及び県の理解と協力を得るとともに、市の一般財源の持ち出し、民間所有の文化財修繕に対する市の負担増。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)			
所属長評価	新庄藩主戸沢家墓所については、国庫補助事業を活用しながら保存活用計画に基づき実施して行く必要がある。また、それ以外の文化財についても改修が早急に必要なものもあり、その対応について検討していく必要がある。	所属長評価	新庄藩主戸沢家墓所については、国庫補助事業を活用しながら、一般財源の持ち出しも念頭に保存活用計画に基づき実施して行く必要がある。また、それ以外の文化財についても改修が早急に必要なものもあり、その対応について検討していく必要がある。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	新庄亀綾織伝承協会支援事業			事務事業コード	323-107-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	佐藤 勝幸
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	22-2188
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項6目	文化財保護管理事業費	予算コード	01-100506-0100
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に令和2年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	市の伝統的な工芸品である「亀綾織」の振興及び後世への伝承を図る。	事業内容	後継者の育成のために新規会員の募集、機織り体験教室、広報活動を行い、特産品としての振興のため観光客への美演販売、各種記念品の販売拡大を図る。		
対象	新庄亀綾織伝承協会				
目指す状態	明治末期に途絶え幻の織物となってしまった「新庄亀綾織」は、昭和56年「最上モデル定住圏地域特産品の開発調査」の対象産品として選定され、昭和60年に当協会を発足、翌年には基本の型の復元に成功した。これを機に市の特産品として振興を図り、併せて後世へ継承していく。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	新庄亀綾織伝承協会	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	1	1	1	1	1	1	1
活動指標	指標名称	機織り体験教室開店日数(日)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
実績	310	257	256	308	0	0				
達成率	103.3%	85.7%	85.3%	102.7%	0.0%			300		
成果指標	指標名称	新庄亀綾織伝承協会会員数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
実績	5	4	6	6	6	6	6	6		
達成率	100.0%	80.0%	120.0%	120.0%	120.0%	120.0%	120.0%	120.0%	5	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	平成30年度から、会員(織り手)の技術向上にシフト 伝承事業については、市内小・中学校を対象として、訪問等を実施									
成果(どのような状態になったか)	反物、帯の製作まで向上し、京都などで展示会が可能になった。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①	500	500	500	3,000	3,000	3,000	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	500	500	500	3,000	3,000	3,000	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	1,405	547	619	395	359	389	新庄亀綾織伝承協会運営事業費補助金	3,000
内訳	正規職員(人)	0.18	0.07	0.08	0.05	0.05		
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	
費用合計(①+②)	1,905	1,047	1,119	3,395	3,359	3,389		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	伝承協会を支援することにより、市の伝統工芸品である新庄亀綾織の存続に 結びついている
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	当該協会は新庄亀綾織を伝承している唯一の団体であり、適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	今後、会員(織り手)を増やす取り組みにより、成果向上の可能性はある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	織り手育成に向けた3年間の補助であり、今後は補助金以外での助成を検 討。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	補助金以外での助成を検討。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	新庄亀綾織は他の自治体には存在しないため、連携は難しい。
	⑧官民協働できるか	● できない ○ できる	伝承協会に対する補助事業であり、協働には馴染まない。 ただし、目的の新庄亀綾織の伝承については、現在も伝承協会との協働事業 である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	令和元年度に新庄亀綾織を、市指定無形民俗文化財に指定。文化財を後世 に残していくことは市の責務であり、地域課題や実情にも合致している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
後継者(織り手)の増加と、技術の向上が必要であり、成果として商業化などにより自立も見込まれる。

8. 課題解決に向けた現時点における
取り組み状況

地域おこし協力隊を採用予定。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
織り手の育成と、新庄亀綾織の発信が必要。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長 評価	団体において米沢、京都などとの交流も始まっており、後継者の 育成と技術向上に向けた支援を継続していく必要がある。	所属長 評価	商業化までの技術の向上が達していない状況にあり、市指定文 化財としての技術伝承のため様々な支援を行う必要がある。 補助金は当初予定どおり、R2年度から減額。
今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の 方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 基本目標, 政策名, 施策名, 事業区分, 法令根拠, 条約・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間. Includes details for '国・県指定文化財管理費補助金'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態. Describes the purpose of maintaining cultural heritage and the implementation status.

3. 実施状況

Table with 10 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, R2見込. Shows performance metrics for cultural heritage management.

Table for 補足説明 (Supplementary Explanation) with columns for 支援文化財, 年度, and R2見込. Lists supported cultural assets like '新庄まつり山車行事保存会'.

Table for 成果(どのような状態になったか) (Achievements/Status). States that national designated cultural heritage preservation was achieved.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 8 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, 事業費の算出根拠(R1). Details budget and personnel costs for the project.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	市は、先人たちが残してきた優れた文化遺産を後世に残していく責務がある。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市の責務として応分の負担をしている。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	維持管理には経費がかかり、行政として最低限の負担である。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	所有者負担の原則のもと、行政として最低限の負担である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	最小人数で業務を行っている。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	市内にある文化財に対する補助事業であり、連携は困難。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	補助事業であり、協働にはなじまない。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域の財産である文化財を後世に残していく事業である。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
八幡神社の老朽化が著しいが、所有者負担には限界があり大規模修繕ができない状況にある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

八幡神社宮司と修繕に向けて協議中。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
補助金の継続。 八幡神社と協議し、修繕計画を検討する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	ユネスコ無形文化遺産に登録され、また、H30年度は東北山・鉾・屋台協議会が設立された。今後、更なる保護と継承を図るため、新庄まつり山車行事保存会の活動を支援することが必要である。 八幡神社は所有者と協議して早期の修繕が必要。	所属長評価	新庄まつりの保護と継承を図るため、新庄まつり山車行事保存会の活動を支援することが必要である。 八幡神社は所有者と協議して早期の修繕が必要。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	国文化財指定登録事業			事務事業コード	323-109-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	佐藤 勝幸
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	22-2188
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項6目	文化財保護管理事業費	予算コード	01-100406-0100
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に令和2年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	優れた文化遺産を後世に残していくこと。	事業内容	国の文化財とすべき優れた価値のある文化遺産を発掘し、その価値を調査して国の指定・登録を目指す。		
対象	市内に埋もれている文化財				
目指す状態	国の文化財として認識してもらい、あわせて文化財に対する市民の意識の高揚を図る。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
			実績							
活動指標	調査活動数及び例会開催数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
		実績	0	1	0	0	0	2	2	
		達成率	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
成果指標	国の文化財指定・登録数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
		実績	1	0	0	0	0	0	1	
		達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
成果(どのような状態になったか)	国指定を目指す文化遺産を整理することができた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①	26	2,209	0	0	0	0	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金	1,000						
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	26	1,209	0	0	0	0	主な歳出の内訳
人件費・・・②	1,718	2,889	1,084	237	153	233		
内訳	正規職員(人)	0.22	0.37	0.14	0.03	0.02	0.03	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	
費用合計(①+②)	1,744	5,098	1,084	237	153	233		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	H27名勝「本合海」保存活用計画策定費							

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	優れた文化遺産を後世に残していくための取り組みは、文化振興につながる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	県指定、市指定の文化財は多数あり、事業の推進は適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	国、県との協議等の場を増やすことにより、国の文化財に認定を受けることにつながる可能性がある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	今年度は事業費はない(人件費のみ)。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	最低限の人件費であり、削減の余地はない。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	複数の行政区域に関わる文化財については、連携が可能である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	指定(登録)後の保護・保存・継承については、協働すべきものである。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	市内には優れた文化遺産が多数あり、後世に残していくことで、文化振興につながる。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)

文化遺産の価値を明確にして、国指定に向けた取り組みが必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

市文化財保護審議会において、国の文化財とすべき文化財について検討している。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)

県、市指定の文化財について、国指定まで引き上げられるかの調査を行い、文化庁や県と協議しながら国の指定・登録を目指していく。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	国の文化財とすべき優れた価値のある文化財を発掘し、その価値を調査して国の指定・登録を目指していく必要がある。	所属長評価	国の文化財とすべき優れた価値のある文化財を選定し、その価値を調査して国の指定・登録を目指していく必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	市民文化会館管理事業			事務事業コード	323-201-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	皆川範雄
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市民文化会館設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項5目	市民文化会館管理事業費	予算コード	01-100405-0200
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に令和2年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 19 年度~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	市民の文化芸術振興を目的としている。	事業内容	指定管理者制度を活用し、演劇教室や歌舞伎公演など、さまざまな文化芸術活動を行う。また、約1,000人収容できる大ホールや約300人収容できる小ホールなどを活用し市民文化活動の拠点として運営する。			
対象	利用者及び市民					
目指す状態	市民が幅広く文化芸術活動を行い、その成果を発表する場として、また、さまざまな文化芸術の推進拠点として施設運営を目指す。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()			

3. 実施状況

対象指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
指標	説明(算式等)		実績	82,373	81,131	84,648	89,658	85,426	70,050	90,000
			達成率							
活動指標	指標名称	施設稼働率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	40	41	42	39	42	46	40
成果指標	指標名称	自主事業の入場者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	5,900	4,290	4,780	2,930	9,000	2,900	6,500
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	【H30に実施した主な自主事業】 ①能舞音楽劇 義経記 ②出張！なんでも鑑定団公開収録 ③宝くじ文化公園海援隊トーク&ライブ ④NHK総合民謡魂 ふるさとの唄公開収録 ⑤新庄・最上 第9を歌う会 ⑥新春神楽 【R1に実施した主な自主事業】 ①磯部修平 トクラリネットな音楽会♪ ②松竹特別公演蘭～緒方洪庵浪華の事件帳 ③DRUM TAO ④堀内孝雄コンサート									
成果(どのような状態になったか)	民間の活力を導入しサービスの向上を図り、コストの軽減化を図るとともに、きめこまやかな管理運営を行なった。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	64,386	72,642	55,709	70,164	47,362	174,808	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	64,386	72,642	55,709	70,164	47,362	174,808	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,093	1,015	1,006	949	1,452	1,712	委員等報酬	12	
内訳	正規職員(人)	0.14	0.13	0.13	0.12	0.19	0.22	修繕料	1,421
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	委託料(大ホール吊物制御装置改修)	130,900
費用合計(①+②)	65,479	73,657	56,715	71,113	48,814	176,520	指定管理者委託料	42,437	
臨時嘱託等(人)							負担金	38	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	R元年度大ホール吊物制御装置改修業務C=130,900千円を行っている。								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	各事業を実施し市民の文化芸術振興に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	広く市民に対して芸術文化に触れ活動する拠点として活用されており適当である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	他部門との連携した事業展開などにより新たな活動を誘発する。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input type="radio"/> 削減の余地がない <input checked="" type="radio"/> 削減の余地がある	空き時間の有効活用(多目的利用)の可能性も検討する。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	指定管理者制度により適正な人員を確保している。
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	定住自立圏の地域連携事業による可能性を検討する。
	⑧官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	設備の維持更新にかかる官民連携事業の可能性を検討する。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input checked="" type="radio"/> なっていない <input type="radio"/> なっている	市民の文化芸術振興にあった事業を展開している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
今年は大ホール吊物修繕や新型コロナウイルス感染拡大防止の閉館等があり利用件数人数が大幅減少したが、市民の文化芸術振興と施設の持続性を図っていく。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

「公共施設総合管理計画」などの考え方を踏まえ施設の管理活用方針を検討する。

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
今後も多様な事業を企画しより多くの市民に芸術文化の振興を図る。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)			
所属長評価	指定管理者との連携した事業展開により市民への芸術文化振興を図るとともに、施設の持続的可能な施設運営に努める。特に施設管理において、危機管理意識を持って各種点検を行い、施設の安全管理を徹底していく。	所属長評価	指定管理者との連携した事業展開により市民への芸術文化振興を図るとともに、施設の持続的可能な施設運営に努める。その時の旬の事業を展開し「新庄・最上の情報発信基地」としての役割を果たしていく。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	子ども芸術学校事業			事務事業コード	323-202-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	小山 知将
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項1目	社会教育総務事業費	予算コード	01-100401-0200
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	● 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	子どもたちに表現活動の楽しさを体験させ、文化芸術に親しむ素地を培う場となることを目的とする。	事業内容	市民有志による「新庄市子ども芸術学校実行委員会」を組織し、社会教育課が事務局となり実施する。(4部門) ①音楽部門「新庄吹奏楽団ジュニア部」 ②演劇部門「キッズシアターS」 ③表現活動部門「ちゃれんこ」 ④造形部門「パレット」		
対象	市内小学生及び中学生		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 全部委託
目指す状態	新庄市長期教育計画に基づき、子どもたちに感情を豊かに表現する楽しさを体験させ、芸術に親しむ機会を設け、その活動を通して地域の文化芸術を振興するため実施する。将来的には受講者の中から芸術の専門家や次の指導者が育ち、地元の芸術文化活動がより活発になる。	<input type="checkbox"/> 補助・負担		<input checked="" type="checkbox"/> 市民協働	<input type="checkbox"/> 指定管理
			<input type="checkbox"/> 事務局	<input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内小中学校児童生徒数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	3,233	3,103	2,945	2,819	2,694	2,597	
説明(算式等)	学校基本調査		達成率							
活動指標	指標名称	延べ開催学習回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	92	49	82	90	95	88	140
説明(算式等)			達成率	65.7%	35.0%	58.6%	64.3%	67.9%	62.9%	
成果指標	指標名称	子ども芸術学校受講児童・生徒数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	48	49	48	60	78	73	50
説明(算式等)			達成率	96.0%	98.0%	96.0%	120.0%	156.0%	146.0%	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	各団体ごとの実施回数と受講者数									
	①「新庄吹奏楽団ジュニア部」	24	回	25	人					
	②「キッズシアターS」	30	回	7	人					
	③「ちゃれんこ」	28	回	21	人					
	④「パレット」	6	回	20	人					
			88	回	73	人				
成果(どのような状態になったか)	子どもたちが芸術文化に親しむ素地を作る場を提供した。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	760	743	800	800	800	800	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	760	743	800	800	800	800	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,796	2,108	1,393	1,423	1,757	2,567	負担金	800	
内訳	正規職員(人)	0.23	0.27	0.18	0.18	0.23	0.33		
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	2,556	2,851	2,193	2,223	2,557	3,367			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	施策である「市民が輝く文化芸術の振興」に合致している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	新規分野の検討、発表会の合同開催、活動周知など、向上の余地がある。
効率性	④成果を下げずに事業費を 削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	活動日が不足している状況にあり、削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	各分野の指導者が集い、実行委員会を組織する形態は適切であると考えられる。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	活動の周知や、活動場所の提供など、運営に協力していただけるようにする。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	多くの市民の方々が参加できるものにする。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	興味を持ってもらえるような事業になりつつある。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
受講児童数・生徒数は右肩上がり伸びており、親子ともに、文化・芸術に興味・関心が向いているとともに、スポーツ少年団以外の多様な習い事を経験させたい・経験したい親子が増加しているように感じる。また、10年以上が経過するというので、受講生が指導者となっている団体も出てきている。この循環した流れを保持するためにも、継続した受講生の募集を行う。 また、指導者が継続して指導していただけるよう、子ども芸術学校自体の取り組み自体の価値を広く周知する必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

広報しんじょうでの紹介を実施している。令和2年度は、各団体から活動写真やコメントをもらい、活動記録として市のホームページに掲載する予定である。そのページのQRコードをチラシ等に掲載し、情報を取りやすくし、事業の理解促進に努める。 また、新庄市以外のメディア露出についても検討してはいるものの、なかなか合致したメディアがないため、新聞社等への投げ込みを継続する。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
市の媒体を使用した市内への広報活動を実施するとともに、他の媒体への露出を増やす。市ホームページに各団体の活動記録を掲載し、理解促進に努める。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	周知・PRを関係各位と協議する必要がある。 参加意向が強まっている部門に対しては、仕組みを改善するとともに、受入団体の弱い団体については継続性を考慮した取り組みが必要。	所属長評価	周知・PRを参加団体等関係各位と協議する必要がある。 参加意向が強まっている部門に対しては、仕組みを改善するとともに、参加希望者が少ない弱い団体については継続性を考慮した取り組みが必要。 また、新たな教室を開講する、各教室の合同発表会などの事業展開も
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	山形県総合美術展覧会巡回展				事務事業コード	323-203-63	
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち			担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る			担当者	伊藤 幸枝
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興			内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業		評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業			
法令根拠							
条例・要綱等							
予算・事務事業名	一般会計	10款5項2目	市民プラザ管理事業費		予算コード	01-100402-0200	
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)						
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)						
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 年度~ (期限の定めのない事業)						

2. 事務事業の概要

目的	市民が文化芸術活動に参加できる機会をつくり、自主的な活動を支援し、豊かな心の育成を図る。	事業内容	市民プラザの指定管理者と市内美術団体との協働により、共有意識を持ちながら、それぞれの立場・役割を尊重しながら効果的な組織体制により実施する。			
対象	新庄・最上地域の住民					
目指す状態	優れた芸術作品の鑑賞機会の提供と、文化芸術活動への参加意欲の高揚を図るとともに、民間(美術関係団体)が主体となり事業を実施し、美術関係団体のネットワークづくりに資する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()			

3. 実施状況

対象指標	指標名称	新庄市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
	説明(算式等)		実績	37,790	37,404	36,833	36,463	36,023	35,465		
活動指標	指標名称	展示作品数(点)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
	説明(算式等)		実績	277	234	433	403	565	567	250	
成果指標	指標名称	入場者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
	説明(算式等)		実績	1,559	1,407	1,911	2,016	2,007	2,291	1,600	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	入場者数	H26	H27	H28	H29	H30	R01				
	一般	659	654	838	667	771	843	R01開催状況			
	高校	2	41	55	37	168	143	期間:10月30日~11月4日			
	中学	532	594	492	538	518	697	会場:市民プラザ			
	小学	319	98	508	539	393	462	展示数:美術品567点			
	幼稚園	47	20	18	235	157	146	オープニングコンサート(チェロ)			
	計	1,559	1,407	1,911	2,016	2,007	2,291				
成果(どのような状態になったか)	高校の授業の一貫として鑑賞してもらうなど、地域の芸術振興に努めた。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①	562	562	562	562	562	562	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	562	562	562	562	562	562	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	312	312	232	237	229	233	指定管理料に含む	562
内訳	正規職員(人)	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03		
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	
費用合計(①+②)	874	874	794	799	791	795		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	県内最大の美術公募展であり、質の高い芸術作品の鑑賞機会を設けることは 芸術文化レベルの向上に貢献している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	地域作家の作品発表の場でもあり、鑑賞する機会を設けることは適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	郡内への周知徹底を図ることで、入場者増の可能性はある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	市の負担金以外に、広告収入や入場料でやりくりしており、削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	市内美術団体と実行委員会を組織しているが、団体の高齢化が進んでいる。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	郡内中学校へ案内を送付し、芸術鑑賞機会の提供を行っている。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	実行委員会を組織し、協働している。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	優れた芸術作品に触れる機会が少ない地域で、芸術鑑賞機会の提供を行っ ている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
少ない予算の中でオープニングコンサートを開催するなど、入場者数増につなげている。 美術団体の高齢化など実施体制が厳しくなっている。

8. 課題解決に向けた現時点における
取り組み状況

今年度はコロナウイルス対策のため、中止となった。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
郡内の学校に継続的に鑑賞してもらえよう、広報周知が必要。 高校美術部との連携など実施体制を強化する必要がある。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長 評価	参加者アンケートを踏まえ、毎年見直しを行いながら事業展開し、鑑賞者数の増加につなげている。指定管理者との連携のうえ、学校への早めの周知を行なうなど、多くの人に鑑賞してもらえるよう努める。	所属長 評価	令和2年度の中止はやむ得ないが、本事業は、子どもから大人まで、芸術文化に触れる良い機会であるため、令和3年度以降も継続する予定で準備を行う必要がある。
今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	市民参加型スポーツイベント開催事業			事務事業コード	331-101-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	三浦 元広
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	472
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項11目	社会体育総務事業費	予算コード	01-100411-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	夢と感動を与えスポーツの振興を図る。	事業内容	各種目(クリテリウム・スポーツレクリエーション祭)の大会を開催する。		
対象	各種目(クリテリウム・スポーツレクリエーション祭)の愛好者及び市民				
目指す状態	各種目(クリテリウム・スポーツレクリエーション祭)を通じて、市民がスポーツを楽しむ機会、スポーツにかかわる機会を提供する。		<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	37,202	36,904	36,833	36,463	36,028	34,565	35,191
説明(算式等)	人口	達成率								
活動指標	指標名称	大会実施回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	4	4	4	4	4	3	2
説明(算式等)	達成率	200.0%	200.0%	200.0%	200.0%	200.0%	150.0%			
成果指標	指標名称	クリテリウム・スポーツレクリエーション祭・市総体等参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	3,623	3,114	3,112	2,843	2,727	2,073	4,300
説明(算式等)	達成率	84.3%	72.4%	72.4%	66.1%	63.4%	48.2%			
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	令和元年度大会参加者数内訳									
	スポーツレクリエーション祭		358名	参加料・市負担金で運営 ※9種目						
	クリテリウム新庄大会		115名	参加料・補助金・協賛金で運営						
	市総合体育大会		1,358名	市体育協会に委託 ※14種目						
	総合型地域スポーツクラブ会員		242名	19教室						
成果(どのような状態になったか)	市民のいきがいづくりと生涯スポーツの振興につながった。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①	30	302	30	30	45	45	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	30	302	30	30	45	45	主な歳出の内訳
人件費・・・②	1,562	2,264	2,322	1,186	917	1,011	市スポーツレクリエーション祭負担金	45
内訳	正規職員(人)	0.20	0.29	0.30	0.15	0.12	0.13	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	
費用合計(①+②)	1,592	2,566	2,352	1,216	962	1,056		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	市民のいきがいくりと一定の市民ニーズに応える生涯スポーツの振興につながっている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	生涯スポーツ振興の施策として適切である。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	スポーツプログラムや広報活動等を適宜見直し、参加者の増に努める必要がある。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	ほぼ参加料で賄っている状態であり、削減すればイベント自体は行えない。
	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	現状においても、各種関係団体との協働により運営しているが、今後はスポーツ団体に限らず、多種多様な団体と協働を進めていく必要がある。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	各大会プログラムについて、管内町村との合同開催も可能。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	現在も関係団体との協働により運営している。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	様々なスポーツ・レクリエーション種目の充実に努めているが、市民のニーズに応える内容になっているかは検討が必要である。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
事業の継続性もあるが全体を通して参加者の固定化が見られ、新規の参加者が少ない状況であり、事業リニューアルや広報活動等を適宜見直しするほか、既存事業自体の実施の可否についても検討すべきである。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

今後の各大会運営の在り方について、関係団体と協議・検討を重ねていく。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
先進地の事例を参考にしながら、効果的なPRや新しいスポーツプログラムの開発等、新規参加者の増に努め、地域住民がより参加しやすい大会実施に向け、各関係団体と協議・検討を重ねていく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	各関係団体と協議・検討を重ね、官民協働をよりすすめ民間主導も視野に入れながら、今後も市民のニーズに応じたスポーツイベントの開催やスポーツプログラムの提供を行い、健康で豊かな生活が送れるような環境整備に努めていく。	所属長評価	市民ゴルフ大会の主催を民間に移行し、活動団体の自立を促した。今後も市民のニーズに応じたスポーツイベントの開催やスポーツプログラムの提供を行い、健康で豊かな生活がおくれるような環境整備に努めていく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	新庄ハーフマラソン大会開催事業			事務事業コード	331-102-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	三浦 元広
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	472
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項11目	社会体育総務事業費	予算コード	01-100411-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 29 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	小学生からシニアまで誰もが気軽に参加できるマラソン大会の開催を通し、幅広い年齢層の健康増進及び体力の向上を図る。 また、参加者の交流を通じた街中の賑わい創出をもって観光振興と地域の活性化を期待する。	事業内容	ハーフマラソンの部、10kmの部、5kmの部、3kmの部、1kmの部、ファミリーの部、ウォーキングの部。		
対象	小学生からシニア				
目指す状態	市民のスポーツへの関心と意欲を高め、本市における生涯スポーツの振興を図る。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市民人口(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込			
	説明(算式等)		実績				36,463	36,028	35,465				
活動指標	指標名称	運営スタッフ数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画			
	説明(算式等)		実績				326	396	415				
成果指標	指標名称	大会参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標			
	説明(算式等)		実績				684	713	693				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)												
	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> ■参加状況 山形県内申込 555名 高校生 70名 他都道府県申込 225名 地域ボランティア 67名 780名 交通警備 40名 ■運営スタッフ 市職員 102名 医療 29名 一般企業 28名 推進員 15名 地区陸協 22名 体協 14名 かむてん 15名 一般ボランティア 13名 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> ■出走状況 申込 完走 完走率 ハーフの部 289 246 85.1% 10kmの部 127 108 85.0% 5kmの部 74 67 90.5% 3kmの部 31 27 87.1% 1kmの部 153 132 86.3% ウォーキング 74 61 82.4% ファミリー 32 26 81.3% </td> </tr> </table>											■参加状況 山形県内申込 555名 高校生 70名 他都道府県申込 225名 地域ボランティア 67名 780名 交通警備 40名 ■運営スタッフ 市職員 102名 医療 29名 一般企業 28名 推進員 15名 地区陸協 22名 体協 14名 かむてん 15名 一般ボランティア 13名	■出走状況 申込 完走 完走率 ハーフの部 289 246 85.1% 10kmの部 127 108 85.0% 5kmの部 74 67 90.5% 3kmの部 31 27 87.1% 1kmの部 153 132 86.3% ウォーキング 74 61 82.4% ファミリー 32 26 81.3%
	■参加状況 山形県内申込 555名 高校生 70名 他都道府県申込 225名 地域ボランティア 67名 780名 交通警備 40名 ■運営スタッフ 市職員 102名 医療 29名 一般企業 28名 推進員 15名 地区陸協 22名 体協 14名 かむてん 15名 一般ボランティア 13名	■出走状況 申込 完走 完走率 ハーフの部 289 246 85.1% 10kmの部 127 108 85.0% 5kmの部 74 67 90.5% 3kmの部 31 27 87.1% 1kmの部 153 132 86.3% ウォーキング 74 61 82.4% ファミリー 32 26 81.3%											
	成果(どのような状態になったか)	市民のスポーツへの関心と意欲を高め、本市における生涯スポーツの振興を図る事ができた。											

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位: 千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①				10,562	11,007	11,018	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金						参加料	2,240
	県支出金						協賛金	470
	受益者負担			1,997	2,348	2,240	スポーツ振興くじ助成金	3,855
	その他特財			4,220	4,838	4,432	繰越	107
	一般財源	0	0	0	4,345	3,821	4,346	主な歳出の内訳
人件費・・・②	0	0	0	7,511	6,418	5,679	報償費	2,287
内訳	正規職員(人)			0.95	0.84	0.73	旅費	119
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	需用費	2,584
費用合計(①+②)	0	0	0	18,073	17,425	16,697	役務費	353
臨時嘱託等(人)							委託料	4,694
事業費増減の理由 (30%以上増減の場合)							使用料	306
							備品購入費	565

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	参加者の年齢層も幅が広く、生涯スポーツ振興に結び付いている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	生涯スポーツ振興と観光振興の施策として適切である。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	周知方法の見直しやエントリー開始を早め、参加者の増に努めたい。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	市の負担金を充当しているが、削除すればイベントを行うことができない。
	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	市の職員、各関係団体と連携しながら、ボランティアを募集することで運営体制が整いつつある。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	各地区のスポーツ団体やボランティア団体と協力しながら運営していくことはできる。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	現在も各関係団体との協働により運営している。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	● なっていない ○ なっている	ファミリーの部やウォーキングの部なども設けているが、市民の多様なニーズに配慮されているか検討が必要である。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価 (R1実績評価)
大会周知を強化し、参加者の増に努めることはもちろん、運営スタッフの確保を積極的に行っていく必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

スポーツ推進委員の研修会を利用して、県内へ周知した。RUNネットやSNSを積極的に活用した。 今回の大会から地域ボランティアの増を区長宅に訪問し依頼した。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価 (R1実績評価)
エントリー期間を早め、他都道府県にも広く周知を図り、認知度を高めていく。高校や地域の方々に大会を理解していただき、積極的に運営協力を依頼する。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価 (R1実績評価)			
所属長評価	前回大会の反省点を改善し、参加者から概ね好評を得た。しかし、申込者は800人と横ばいで、大会周知方法を改善し幅広い年齢層に周知を図りたい。また、地区住民への周知が不十分で、丁寧な説明が必要だ。今大会の反省も踏まえて、関係機関・団体など連携・協働を図りながら、安全対策やランナーズファーストの視点で改善していく。	所属長評価	前回大会に比べ運営スタッフが増加してきている。申込開始日を早めたが申込者数は800人と横ばいだった。大会周知方法を改善し幅広い年齢層に周知を図りたい。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等				
<input type="checkbox"/> 現行					
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()		
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()		
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保	
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足	
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他	
総合意見					

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, etc. Content includes '新庄市体育協会運営費補助金' and '331-103-63'.

2. 事務事業の概要

Table with 2 columns: 目的, 対象, 実施形態. Content includes '市におけるスポーツを振興し、市民の体力向上とスポーツ意識の高揚を図る。' and implementation options like '市直営', '補助・負担', etc.

3. 実施状況

Table with 10 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, R2見込. Includes sub-tables for activity and result indicators, and a detailed '補足説明' section.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1. Content includes '事業費', '内訳', '人件費', and '費用合計'.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	様々な競技団体等との連携を図ることにより、市民のスポーツ活動への多様なニーズに応えることができる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市の生涯スポーツ振興における要の一つであるため、削減の余地はない。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	市との連携を強め、市の政策に沿ったスポーツ振興を図っていくほか、体育協会の自主性を重んじ、専門的かつ独自の運営が出来るように支援について検討する余地がある。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	削減を実施するとサービスの質が低下するため、削減の余地がない。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	事業が補助金の交付である。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市の体育協会である。ただし、地区体育協会連絡協議会の事務局として、共通の課題やニーズに基づいた事業展開を図ることは可能。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	事業が補助金の交付である。ただし、市の体育振興に必要な事業等について、市と連携して取り組むことは可能。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	団体は収益事業を実施できる団体であるが、利潤追求ではないため、補助金による事業支援は必要である。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
加盟団体のみならず、体育協会自らの自主性を重んじるとともに専門性を発揮し、市民ニーズに沿ったスポーツ振興を図ることが必要。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

より市の体育振興につなげるため、効果的な支援及び支援体制のあり方等について協会とともに検討している。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
市と市体育協会の連携を強化し、市の体育振興政策について、改めて認識を共有しながらも、市と協会それぞれの役割に応じた事業を推進させる必要がある。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	市行政と共通認識と役割分担を図りながらも、競技スポーツのみならず生涯スポーツも含め、市全体としてのスポーツ振興の機運醸成につながる提案や取組みに対応できる環境整備・支援の在り方について協議・検討していく必要がある。	所属長評価	市行政との役割分担を図りながら、緊密な連携をとり、また、体育協会としての専門性・柔軟性等の特性を十分に生かし幅広い活動を展開していくことが必要である。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 事業期間, etc.

2. 事務事業の概要

Table with columns for 目的, 対象, 目指す, 事業内容, 実施形態, etc.

3. 実施状況

Table with columns for 対象指標, 活動指標, 成果指標, 補足説明, 成果(どのような状態になったか), etc.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with columns for 年度, 事業費, 内訳, 費用合計, etc.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	各競技団体の自主的な運営により、多様な市民ニーズに応えるなど、市のスポーツ振興政策・施策に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	(一財)新庄市体育協会の加盟団体であり適切である。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	市総体の実施内容が市体協加盟団体によって差が生じている。 (加盟団体数の減もあり)
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	各競技団体の負担が厳しくなるため、削減の余地がない。 (各競技団体数へ助成)
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	(一財)新庄市体育協会への業務委託事業である。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市の総合体育大会である。
	⑧官民協働できるか	● できない ○ できる	(一財)新庄市体育協会への業務委託である。ただし、開催にかかる周知・PR等については連携・協力が可能である。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域の競技スポーツの活性化に寄与している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)

市体協加盟団体による大会が開催され、競技者のレベルアップに寄与しているが、競技団体に加入していない多数の市民の健康・体力増進や加盟団体に共通する能力向上につながるような取組みを増やしていく必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

実行委員会での協議・検討

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)

実行委員会等において、競技種目の追加も含め、大会運営の工夫について検討が必要である。

9. 所属長評価及び今後の方向性

	前回の評価	所属長評価	今回の評価(R1実績評価)
所属長評価	他自治体における同様の大会も参考にし、競技力の向上のみならず、スポーツを実施する上での機運醸成も含め、市のスポーツ振興全体に寄与する魅力ある取組みを目指していく必要がある。	所属長評価	雪不足により、スキー大会が開催できず、参加者の大幅な減少につながった。今後も、競技種目の追加や大会運営の工夫について検討を重ね、競技・生涯スポーツ全体の活性につなげていく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ育成事業			事務事業コード	331-201-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	三浦 元広
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	472
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項11目	職員給与費	予算コード	01-100411-0100
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	● 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	市民がスポーツ活動に参加する場を提供する。	事業内容	かむてん(旧:新庄21地域)スポーツクラブの自立自存を、施設使用料の減免により支援する。		
対象	市民				
目指す	これまで、行政側が主導していたスポーツ教室等を住民主体の「総合型地域スポーツクラブ」で推進し、生涯スポーツの振興を目指す。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	総合型地域スポーツクラブの設置数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
	説明(算式等)		実績	1	1	1	1	1	1	1
			達成率							1
活動指標	指標名称	かむてん(旧:新庄21地域)SC短期教室の参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
	説明(算式等)		実績	46	26	17	10	17	8	100
			達成率	46.0%	26.0%	17.0%	10.0%	17.0%	8.0%	
成果指標	指標名称	かむてん(旧:新庄21地域)SCの年度末会員数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
	説明(算式等)		実績	407	367	332	291	283	242	450
			達成率	90.4%	81.5%	73.8%	64.7%	62.9%	53.8%	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	■かむてん(旧:新庄21地域)スポーツクラブ(短期教室除く) ◇会員数.....男~55人 女~187人 合計242人 ◇クラブ種目.....健康クラブ、ソフトテニス、ウォーキング、エアロビクス、フラダンス等、全19コース ◇市では、施設使用料の減免措置を当初より取っている。									
成果(どのような状態になったか)	子どもから高齢者まで、市民の誰もが気楽に楽しめるスポーツプログラムを通し、生涯スポーツの振興と市民の健康増進を図った。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費 ... ①	0	0	0	0	0	0	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳		
人件費 ... ②	781	1,093	1,161	791	688	778			
内訳	正規職員(人)	0.10	0.14	0.15	0.10	0.09	0.10		
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	781	1,093	1,161	791	688	778			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	市民が様々なスポーツに触れられる場を提供できており、生涯スポーツの振興を図る機会となっている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市民の多様なニーズに一定程度応える形になっている。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	会員人数の増加を図るための広報活動に加え、より多くのニーズに応えるようなプログラムの充実について検討する余地がある。
	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	会費を主としたクラブ運営をしているため、削減は難しい。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	会費を主とした自主自立の運営になっているが、スポーツや健康福祉事業の委託等、安定した財源の確保の取り組みも必要である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	教育事務所を事務局とし、クラブ活動全般に対する支援を行うための「広域スポーツセンター」を設置し、各種支援事業を実施している。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	自主自立による運営を主としているが、スポーツ関連事業の委託や事業実施に伴う広報活動等を協働により進めている。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	既存のスポーツプログラムを実施・継続しているが、今後はその都度市民のニーズに応える新しいプログラムの開発やリニューアルの検討も必要。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
スポーツ振興くじ助成金の交付が平成26年度を持って終了し、会費の見直しにより自立に向け対応しているが、会員数の減少もあり、市民のスポーツ機会の充実と安定したクラブ運営のためには、今後も市の支援は必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

補助金等の直接的な助成はないが、施設使用料の減免処置を行っている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
スポーツクラブ自立への取り組みについて、情報を共有しながら、必要な支援方法を検討する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

	前回の評価	今回の評価(R1実績評価)
所属長評価	生涯スポーツ振興の一旦を担っており、広く様々なプログラムを提供して頂いているが、プログラム数の限定かつ高度化や、クラブ活動全体に係る学習や交流の機会を設け充実させるなど、魅力あるクラブ活動の在り方について検討を重ねていく必要がある。	市の生涯スポーツ推進活動を担って頂いているが、会員数は年々減少している。周知方法も工夫し、新たな種目を開設するなど会員増加に向けた取り組みを新たに考えていくと同時に、各種目における実施内容の充実も図っていかねばならない。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	市体育館管理運営事業			事務事業コード	331-301-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	加藤 明
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	471
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市体育施設設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項12目	体育施設の管理運営事業費	予算コード	01-100412-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	スポーツを行う場を市民に提供し、競技スポーツ力の向上、市民の健康増進など地域のスポーツ振興を図る。	事業内容	体育館を整備し市民に貸し出す。また、市のスポーツ振興の中心となり事務事業を行う。		
対象	体育館及びその利用者				
目指す状態	市体育館が市のスポーツ振興におけるシンボリック的存在となることを目指す。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	施設利用者	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	43,844	8,944	35,218	46,468	37,019	34,673	55,000
	達成率									
活動指標	指標名称	利用団体数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	1,641	419	1,303	1,483	1,568	1,407	2,000
	達成率		82.1%	21.0%	65.2%	74.2%	78.4%	70.4%		
成果指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	43,844	8,944	35,218	46,468	37,019	34,673	55,000
	達成率		79.7%	16.3%	64.0%	84.5%	67.3%	63.0%		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	■主な利用団体の競技種目 ・卓球 ・バドミントン ・ソフトテニス ・フットサル ・サッカー ・陸上 ・バレーボール ・バスケットボール ・ソフトバレー ・体操 ■大会等を開催している団体……新庄地区卓球協会、新庄アマチュアボクシング協会、新庄地区バドミントン協会、新庄テニス協会、新庄地区ハンドボール協会、新庄地区サッカー協会、中体連、高体連、他									
成果(どのような状態になったか)	屋内スポーツの多種多様な活動を行える場となり、市民の健康増進や競技力の向上に貢献した。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費 … ①	23,842	17,293	19,065	19,893	18,813	19,888	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担	3,695	1,012					
	その他特財							
一般財源	20,147	16,281	19,065	19,893	18,813	19,888	主な歳出の内訳	
人件費 … ②	703	703	697	791	688	545	体育館指定管理委託料	19,888
内訳	正規職員(人)	0.09	0.09	0.09	0.10	0.09	0.07	(指定管理者収支決算より)
1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	24,545	17,996	19,762	20,684	19,501	20,433		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多種多様なスポーツ活動で施設を利用しているため、目的が施策と結びついているといえる。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市のスポーツ振興の中心施設として、市民のスポーツ活動への意識を高めている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	施設整備を行い、施設の適正な管理運営に努めことを第一に、大会の誘致も含め、更なる競技活動を行える場として提供できることが望ましい。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利用者が安全に活動を行うため、長期的かつ定期的な修繕が必要であり、削減は難しい。
効率性	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度で効率的な管理運営を実施しているため、最も有効的な手法であると考えられる。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者による施設の管理運営を実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	指定管理者制度が、公の施設の管理を住民のニーズに、より効果的、効率的に対応することを目的としており、その制度を活用して施設の管理運営を実施している。
	⑨		

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
平成27年度には耐震補強工事を実施し、大規模な改修は済んではいるが、外構等も含め箇所によっては経年劣化が見られるため、今後も計画的な修繕は必要である。 そのほか、利用者が使用する備品も老朽化が進んでおり、備品等のメンテナンスや補充が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

新たな予算措置を含め、体育施設全体において優先順位を付けながら、修繕や備品の整備を行った。 また、小中学生の無料化等の利用料金の見直しを行った。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
体育施設全体における修繕や備品補充について優先度を検討する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	施設の安全かつ適正な管理運営について、修繕や備品の補充については、体育施設全体における優先度を鑑みながら、計画的に確実性を担保し、継続していく必要があるほか、利用者のニーズも念頭におきながら、魅力ある施設の環境整備に努めていく必要がある。特に施設管理において、危機管理意識を持って各種点検を行い、施設の安全管理	所属長評価	利用料金の見直しにより、利用拡大が期待されているが、老朽化に伴う修繕や備品の更新などの課題も多いため、利用者のニーズに沿った施設整備と施設管理を行う必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, etc. Content includes '市民スキー場管理事業' and '331-302-63'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態. Content includes '市民一人ひとりが楽しめる...' and '公の施設の適正な管理を確保しつつ...'.

3. 実施状況

Table with 10 columns: 対象指標, 指標名称, 施設利用者, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, R2見込. Includes data for '施設利用者' and '開場日数'.

Table for 補足説明 (Supplementary Explanation) with columns for years H26 to R1. Includes text about snow shortage and school ski lessons.

Table for 成果 (どのような状態になったか) (Achievements/Status). Content: '利用者数は天候に影響されたが、初級者向けのゲレンデであり家族連や初心者、小学生のスキー授業での利用があった。'

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1. Includes rows for '事業費', '内訳', '費用合計', and '事業費増減の理由'.

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多種多様なスポーツ活動で施設を利用しているため、目的が施策と結びついているといえる。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市の冬季スポーツ振興の中心施設として、市民のスポーツ活動への意識を高めている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	施設の整備を行い、より安心安全にスポーツ活動を行える場としてほか、集客につながる魅力づくりや閑散期にも活用できる環境が望ましい。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利用者が安全に活動を行うために定期的な修繕が必要であり、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度で効率的な管理運営を実施しているため、最も有効的な手法であると考えられる。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者による施設の管理運営を実施している。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	指定管理者制度が、公の施設の管理を住民のニーズに、より効果的、効率的に対応することを目的としており、その制度を活用して施設の管理運営を実施している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
施設の修繕や備品等のメンテナンス・補充と閑散期の活用も含めた魅力あるスポーツ施設としてどう環境整備を進めるか。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

優先順位を付けながら、計画的に施設の修繕や備品等のメンテナンスを行った。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
修繕や備品の整備を計画的に確実に実施 集客につながるスポーツイベントを企画・実施するほか、閑散期の利活用について協議検討する場づくり

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	レジャー性の高い施設であり、施設の安全な管理運営が第一となるが、冬期間における唯一の屋外スポーツ施設の性質を生かし、閑散期の利活用も含め、アイデアや工夫を凝らしながら魅力あるスポーツ施設としての環境整備を進めていく。特に施設管理において、危機管理意識を持って各種点検を行い、施設の安全管理を徹底していく。	所属長評価	例年のない雪不足で、短期間のみの営業となったが、圧雪車の更新やリフトの整備など、安全管理のための施設整備を行うことができた。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 条約・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間. Includes details for '市民球場管理事業'.

2. 事務事業の概要

Table with columns for 目的, 対象, 目指す, 事業内容, 実施形態. Includes details about the purpose and implementation of the '市民球場' management project.

3. 実施状況

Table with columns for 対象指標, 活動指標, 成果指標. Shows performance metrics for '施設利用者', '開場日数', and '利用人数' across years H26 to R1.

Table for 補足説明 (Supplementary Information) showing detailed usage statistics for the stadium grounds, indoor courts, and training rooms.

Table for 成果(どのような状態になったか) (Achievements) describing the impact of providing a venue for citizens.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table showing resource input (事業費) by year (H26 to R1) and category (内訳), including items like '国庫支出金', '人件費', and '費用合計'.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多種多様なスポーツ活動で施設を利用しているため、目的が施策と結びついているといえる。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市のスポーツ振興の中心施設の一つとして、市民のスポーツ活動への意識を高めている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	施設整備を行い、大会も含めた更なる競技活動を行える場として提供すべきである。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利用者が安全に活動を行うために定期的な修繕が必要であり、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度で効率的な管理運営を実施しているため、最も有効的な手法であると考えられる。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者による施設の管理運営を実施している。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	指定管理者制度が、公の施設の管理を住民のニーズに、より効果的、効率的に対応することを目的としており、その制度を活用して施設の管理運営を実施している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
施設の老朽化が進行しており、備品等のメンテナンス・補充も必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

優先順位を付けながら、施設の修繕を行ったほか、緊急性が高い修繕や備品の整備についても柔軟に対応した。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
計画的な修繕や備品整備の確実な実施

9. 所属長評価及び今後の方向性

	前回の評価	今回の評価(R1実績評価)
所属長評価	屋内練習場については冬期間の利用頻度も高く、通年を通し利用できる体育施設として、今後も利用実態に沿った、計画的かつ確実性のある修繕や備品の整備に努めていく。特に施設管理において、危機管理意識を持って各種点検を行い、施設の安全管理を徹底していく。	修繕等、施設の環境整備については、大会開催に向けた一過性のものではなく、長期的かつ定期的な取り組みが必要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, etc. Content includes '武道館管理事業' and '331-304-63'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態. Content includes '誰もが生涯にわたり、スポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。' and implementation status checkboxes.

3. 実施状況

Table with 10 columns: 対象指標, 指標名称, 施設利用者, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, R2見込. Includes performance metrics for facility users and opening days.

Table for 補足説明 (Supplementary Explanation) with columns for 令和元年度実績 and 令和元年度実績. Includes data for Judo and Archery fields.

Table for 成果(どのような状態になったか) (Achievements/Status). Content: 体を動かす場の提供により市民へ爽快感、達成感、相互の連帯感や楽しさ、喜びをもたらした。

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1. Content includes '事業費の算出根拠(R1)', '歳入の積算内訳', and '主な歳出の内訳'.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多種多様なスポーツ活動で施設を利用しているため、目的が施策と結びついているといえる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市のスポーツ振興の中において、唯一の武道競技場として、市民のスポーツ活動への意識を高めている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	施設整備を行い、更なる競技活動を行える場として提供すべきである。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利用者が安全に活動を行うために定期的な修繕が必要であり、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度で効率的な管理運営を実施しているため、最も有効的な手法であると考えられる。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者による施設の管理運営を実施している。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	指定管理者制度が、公の施設の管理を住民のニーズに、より効果的、効率的に対応することを目的としており、その制度を活用して施設の管理運営を実施している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
施設の老朽化が進行しており、備品等のメンテナンス・補充も必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

緊急性を考慮し、優先順位を付けながら、適切な維持管理を行った。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
計画的な修繕や備品整備。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	施設自体の老朽化はあるものの、市唯一の武道競技場であり、利用者も増加する中、必要な修繕や整備を確実にし、利用者間の調整やニーズも踏まえた適正な管理運営に努めていく。特に施設管理において、危機管理意識を持って各種点検を行い、施設の安全管理を徹底していく。	所属長評価	市唯一の武道競技場として、利用者が安心・安全に利用できるよう、確実な修繕・整備も含め、適切な管理運営を行っていく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 条約・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間. Includes details for '市民プール管理運営事業'.

2. 事務事業の概要

Table with columns for 目的, 対象, 目指す, 事業内容, 実施形態. Describes the purpose and implementation of the pool management project.

3. 実施状況

Table showing performance indicators (e.g., 施設利用者, 開場日数) and a detailed '補足説明' section with a grid for annual data from H26 to R1.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table detailing financial resources, including columns for 年度 (H26-H30, R1) and categories like 事業費, 内訳, 費用合計.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多種多様なスポーツ活動で施設を利用しているため、目的が施策と結びついているといえる。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市の夏季スポーツ振興の中心施設の一つとして、市民のスポーツ活動への意識を高めている。一方で、夏季に水に親しむことができる施設であり、市民の余暇にも貢献している。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	施設の整備を行い、より快適で安全な施設として提供すべきである。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利用者が安全に活動を行うために定期的な修繕が必要であり、削減は難しい。
効率性	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度で効率的な管理運営を実施しているため、最も有効的な手法であると考えられる。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者による施設の管理運営を実施している。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	指定管理者制度が、公の施設の管理を住民のニーズに、より効果的、効率的に対応することを目的としており、その制度を活用して施設の管理運営を実施している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
施設の老朽化が進行しており、備品等のメンテナンス・補充も必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

優先順位を付けながら、施設の修繕、備品等の修繕・整備を行った。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
計画的な修繕や備品整備

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	スキー場同様に、供用期間が短い施設であるが、レクリエーション性が高いため、事故等が生じないよう、必要な修繕に加え、万が一の緊急時に対応する管理者の定期的な研修・訓練も定期的に行い、安心安全な施設の管理運営を継続していく必要がある。特に施設管理において、危機管理意識を持って各種点検を行い、施設の安全管理を徹底し	所属長評価	供用期間が短い施設であるが、レクリエーション性が高く利用者が集中する施設であり、必要な修繕に加え、管理者の定期的な研修・訓練による緊急時対応の維持等、安心・安全な施設の管理運営を継続していく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for project name, code, objectives, policy, strategy, classification, legal basis, budget, and period.

2. 事務事業の概要

Table with columns for purpose, target, status, and implementation details.

3. 実施状況

Table with columns for indicators (施設利用者, 開場日数, 利用者数) and years (H26-H30, R1, R2).

Table for detailed implementation status with columns for facility names and utilization figures.

成果(どのような状態になったか) 施設の利用者数は前年並みか減少傾向にあるが、平成28年度に陸上競技場の全天候型トラックを中心とした全面改修を行ったことにより、利用者が飛躍的に増加した。

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with columns for years (H26-H30, R1) and cost categories (事業費, 人件費, etc.).

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多種多様なスポーツ活動で施設を利用しているため、目的が施策と結びついているといえる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市のスポーツ振興の中心施設として、市民のスポーツ活動への意識を高めている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	施設整備を行い、大会も含めた更なる競技活動を行える場として提供すべきである。
効率性	④成果を下げずに事業 費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利用者が安全に活動を行うために定期的な修繕が必要であり、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度で効率的な管理運営を実施しているため、最も有効的な手法であると考えられる。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者による施設の管理運営を実施している。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	指定管理者制度が、公の施設の管理を住民のニーズに、より効果的、効率的に対応することを目的としており、その制度を活用して施設の管理運営を実施している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H1実績評価)
中心施設の大規模な改修は実施してきているが、全体として施設の老朽化が進行しており、備品等のメンテナンス・補充が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

優先順位を付けながらも、緊急性にも柔軟に対応し、施設の修繕、備品等の修繕・整備を行った。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H1実績評価)
計画的な修繕や備品設備な確実な実施。

9. 所属長評価及び今後の方向性

	前回の評価	今回の評価(R1実績評価)
所属長評価	全面的な改修を行ったテニスコートや陸上競技場について、一定の利用者を確保できているが、その他施設においては利用者も落ち込んでおり、老朽化の対策と合わせ、施設の維持管理の在り方について検討していく必要がある。特に施設管理において、危機管理意識を持って各種点検を行い、施設の安全管理を徹底していく。	テニスコートや陸上競技場について、利用者数が増加傾向にある。今後も機会を捉えた改修や備品の整備を行い、利用者へのサービスや競技力の向上に努めていく必要がある。その他施設においては利用人数も落ち込んでおり、老朽化を踏まえて将来的な統廃合等も含めた検討が必要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, etc. Content includes '市体育施設整備事業(全体)', '331-308-63', 'ふれあい、学びあい、心をつなぐまち', etc.

2. 事務事業の概要

Table with 2 columns: 目的, 対象, 実施形態. Content includes '誰もが生涯にわたり、スポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。', '新庄市の体育施設', '施設機能の維持、安全確保など。', and implementation options like '市直営', '全部委託', etc.

3. 実施状況

Table with 10 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, R2見込. Content includes '新庄市の体育施設数及び屋内ゲートボール場', '屋内ゲートボール場・相撲場(H29廃止)', '修繕・工事実施箇所数(箇所)', '全施設利用者総数(人)', and a detailed list of maintenance work under '補足説明'.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1. Content includes '事業費', '内訳', '人件費', '費用合計', and '事業費増減の理由'.

(PLAN) 計画



(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多くの市民が施設を利用することにより、健康や体力づくりに貢献している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	利用しやすい施設にするために整備することは、市民のニーズでもあり、適当であると考えられる。
有効性	③成果の向上余地がないか	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	未整備・未改修箇所、緊急的な対応が多数あるため、向上の余地はない。
効率性	④成果を下げずに事業 費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	現在でも利用者からの整備・改修のニーズが多いため、削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	施設の状態確認から整備に係る人員も限られており、改善の余地はないと考えられる。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑧官民協働できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	● なっていない ○ なっている	安心安全も含め、利用しやすい公の施設にするために施設を整備することは、市民のニーズである。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
施設の老朽化が全体的に進んでおり、計画的な修繕が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

中期財政計画の策定のため、各施設の 中長期的な修繕計画を検討している。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
財政状況に応じ、計画的に修繕等を行うとともに、長寿命化や統廃合を検討する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長 評価	優先順位を設けながらも、緊急性が求められる修繕の対応が増えており、そのような場合の対応や、一方で耐用年数や利用状況に合わせた事前の計画的な整備を、財政状況に合わせながらもどのように進めていくか検討していく必要がある。	所属長 評価	老朽化に伴い、緊急修繕等が増えているが、優先順位や費用対効果を検証し効果的で計画的な施設整備を市民の理解を得ながら進めていく必要がある。
今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	山屋セミナーハウス管理事業			事務事業コード	331-309-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	加藤 明
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	471
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市体育施設設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項13目	山屋セミナーハウス管理事業	予算コード	01-100413-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	競技スポーツの向上、強化を行う際の拠点となる宿泊施設を目指す。	事業内容	多様なニーズに応じていくため、平成25年度から指定管理者へ移行 指定管理期間:平成27年4月1日~平成32年3月31日(5年間) 指定管理者:山屋有志会 【利用できる施設内容】 ・研修室(1号室~5号室) ・多目的ホール ・屋内運動場 ・屋外運動場		
対象	山屋セミナーハウス及びその利用者		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託
目指す状態	競技スポーツの向上、スポーツ少年団等の育成、強化を目指し合宿等での利用促進を図る。	<input type="checkbox"/> 補助・負担		<input type="checkbox"/> 市民協働	<input type="checkbox"/> 指定管理
			<input type="checkbox"/> 事務局	<input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	14,259	16,973	13,177	11,949	11,932	12,973	18,000
説明(算式等)	宿泊者を含む延べ利用者数		達成率							
活動指標	指標名称	開場日数(日)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	355	361	363	360	360	358	349
説明(算式等)			達成率	101.7%	103.4%	104.0%	103.2%	103.2%	102.6%	
成果指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	14,259	16,973	13,177	11,949	11,932	12,973	18,000
説明(算式等)	宿泊者を含む延べ利用者数		達成率	79.2%	94.3%	73.2%	66.4%	66.3%	72.1%	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	【施設使用状況】									
	◇研修室 団体数 110団体 使用人数 1,946人									
	◇多目的ホール 団体数 75団体 使用人数 2,038人									
	◇屋内運動場 団体数 454団体 使用人数 8,900人 ◇屋外運動場 団体数 6団体 使用人数 89人									
	◆合計 団体数 645団体 使用人数 12,973人									
◇うち宿泊者数 市内/団体数 8団体 使用人数 171人 市外/団体数 83団体 使用人数 1,409人										
◆合計 団体数 91団体 使用人数 1,580人										
成果(どのような状態になったか)	屋内運動場と宿泊機能を兼ね備えた体育施設として、スポーツ少年団の活動や部活動、サークル活動において積極的に活用され、利用者が増加している。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費 ... ①	13,360	13,481	10,280	10,309	10,771	11,038	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担	1,993	1,907						
	その他特財								
一般財源	11,367	11,574	10,280	10,309	10,771	11,038	主な歳出の内訳		
人件費 ... ②	3,826	1,171	1,239	1,818	1,528	1,712	指定管理業務委託料	11,038	
内訳	正規職員(人)	0.49	0.15	0.16	0.23	0.20	0.22	(指定管理者収支決算より)	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	17,186	14,652	11,519	12,127	12,299	12,750			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	スポーツ合宿及び学校教育や社会教育といった分野での活用や様々な交流事業など幅広く活用できる施設の維持管理となっている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	○ 適切である ● 見直しの余地がある	施設の利用促進を図るため、宿泊機能のPRも含め、管内のみならず、管外への幅広い周知が必要である。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	利用者・宿泊者ともに横ばいである。利用料金制の導入もあり、設定料金の見直しについても検討が必要である。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	施設を安全に管理する上で削減の余地は無い。
効率性	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	今後も適切な人員配置・管理運営体制の向上について協議・検討を重ね、適正な指定管理者制度の在り方と制度の向上に努めていく必要である。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	直接的な管理・運営は難しいが、管内体育施設の機能紹介等について連携して行うことは可能。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者制度の範疇ではあるが、地域が主体となった有志組織により管理・運営されている。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域が主体となった有志組織により管理・運営されており、地域コミュニティの活性化に貢献している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
灯油流出事故等により施設における危機管理対応への多数の課題が浮き彫りにされた。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

施設の運営管理を当市直営にて行い、今後の施設管理や整備等の業務を見直ししながら実施している。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
全国の他自治体等における施設管理の状況を参考に、適正に施設管理を行っていく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	施設管理におけるリスク対応が不足しているため、指定管理者制度の精度を上げていくための協議と具体的な取組みを始める必要がある。特に施設管理において、危機管理意識を持って各種点検を行い、施設の安全管理を徹底していく。	所属長評価	指定管理制度の活用を見直し、市直営で施設管理における危機管理や利用者の安全管理等について再度見直しを行いながら施設運営を行っていく。あわせて、課所管施設全体においても危機管理等の意識保持や施設点検の徹底を図り、良好な施設管理に向けた指定管理者との関りを再検討していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	ホスタウン推進事業			事務事業コード	332-201-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	加藤 明
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	471
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項11目	社会体育総務事業費	予算コード	01-100411-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 H30 年度 ~ 終期 R3 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を機に、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国との人的・経済的・文化的な相互交流を図る。	事業内容	<input type="radio"/> オリンピアン(相手国・日本人)との交流を通じ、スポーツの素晴らしさを学ぶ <input type="radio"/> オリンピアンの経験を聞く、オリンピックと競技を楽しむ <input type="radio"/> オリンピアン相手国との交流を通じ、歴史・文化を知る。 <input type="radio"/> 相手国の歴史・文化を知る、日本文化を紹介する <input type="radio"/> ジュニアアスリートの交流を図り、競技力の向上ほか、若い世代からの歴史・文化を通じた相互理解につなげる。		
対象	ホスタウン相手国及び市民		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	
目指す状態	スポーツの振興のみならず、教育文化の向上、観光振興も含めた地域の活性化				

3. 実施状況

対象指標	指標名称	相手国数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	—	—	—	—	1	1	1
説明(算式等)	達成率	—	—	—	—	100.0%	100.0%	1		
活動指標	指標名称	事業実施回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	—	—	—	—	2	8	2
説明(算式等)	達成率	—	—	—	—	100.0%	400.0%	2		
成果指標	指標名称	事業参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	—	—	—	—	8	90	100
説明(算式等)	達成率	—	—	—	—	8.0%	90.0%	100		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	○ホスタウンの取組み									
	・令和元年度									
	4月	台湾オリンピック委員会、中華民国羽球協会を訪問し交渉を実施(訪問団4人)								
	8月	ホスタウン台湾親子料理教室を開催(参加者11人)								
	8月	パラリンピアン卓球セミナーを開催(参加者約50人)								
	9月	山形スポーツフェスタ2019へ参加								
	11月	最上地区国際交流協会の台湾親善旅行に参加 中華民国羽球協会との交渉を実施(訪問団7人)								
	12月	感染症研修会を開催								
	1月	ホスタウン推進事業実行委員会設立								
成果(どのような状態になったか)	参加国との人的・経済的・文化的な相互交流を図るための素地づくりにつながった。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費 … ①					474	404	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	0	0	0	0	474	404	主な歳出の内訳	
人件費 … ②	0	0	0	0	1,986	1,867	旅費	326	
内訳	正規職員(人)				0.26	0.24	看板製作委託料	64	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	0	0	0	0	2,460	2,271			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	夢と感動のあるスポーツライフの実現に資する事業である。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	教育・文化の振興のみならず、市全体として地域活性化の取組みにつながる事業である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	オリンピックの延期と感染症拡大防止対策のため、交渉が中断しており、今後交渉を再開し、成果を得ていく必要がある。
	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	現在は事業推進に必要な組織づくりも含めた環境整備の段階であり、今後の事業推進に係る事業費削減は難しい。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	事業推進のための組織づくりとして実行委員会を設立したが、今後の事業実施に向けて事務局の人員が足りない。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	管内でホストとして認定を受けているのは当市のみであるが、インバウンドの推進は管内全体の地域振興に係るものであり、事業連携も可能である。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	市民・団体と連携し実行委員会を設立した。今後、具体的な事業実施にあたり、市民・団体・企業等と協働で進める必要がある。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	教育・文化・観光等、様々な面における振興策となるほか、それに係る人材の育成等、新たな地域活性化につながる取組みである。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
オリンピックの延期と感染症拡大防止対策のため、交渉が中断しており、今後交渉を再開し、成果を得ていく必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

今後の事業再開に向けて具体的な事業計画を検討している。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
新型コロナウイルス感染症の事態の収束を見極め、交渉再開を申し入れ、事業の実施に向けて準備する。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	スポーツの振興のみならず、市の様々な政策・施策の実現につながる取組みであり、全庁的な連携と、市民・団体も交えた組織体制の整備を急ぎ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会の動きと合わせ、最大限に市民に還元できる取組みとすべきである。	所属長評価	実行委員会を設立したが、新型コロナウイルスの影響により事業が実施できない状況となった。事態の収束に合わせて、具体的な事業実施に向けて取り組む必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for project name, code, objectives, budget, and evaluation criteria.

2. 事務事業の概要

Table detailing the purpose, target audience, and implementation status of the project.

3. 実施状況

Table showing performance indicators, activity metrics, and achievement rates over time.

4. 投入資源

Table detailing financial resources, including expenses and personnel costs.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	<input type="radio"/> 結びついている <input checked="" type="radio"/> 見直しの余地がある	順位が低迷している。上位入賞を目指すために、更なる選手強化が必要である。ジュニア育成を強化しチームの底辺拡大を図る必要がある。
	②対象や目指す状態が適当であるか	<input type="radio"/> 適切である <input checked="" type="radio"/> 見直しの余地がある	各所属選手の勤務状況と練習スケジュールが上手く調整できない。選手のコンディショニングを整える必要がある。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	選手の練習環境を整える事が出来ると考える。全天候型である陸上競技場を利用することで効率よく練習を消化できると考える。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	選手から自己負担金を徴収しながら、合宿、遠征などを行っている。事業費の確保を行っていきたい。
効率性	⑤人員や実施形態は適正か	<input type="radio"/> 改善の余地がない <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある	各町村の担当者から協力いただきながら、事業を継続している。市の担当者がマネージャーをしている状態であるため、外部団体等への協力依頼も考えながら行っていく必要がある。
	⑥他自治体と連携できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	現在も最上8市町村で実行委員会を組織したうえで事業を実施している。
	⑧官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	地元の企業から協賛金をいただきながら事業を継続している。更に、チーム支援をしてくれる企業を探す事も必要である。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	地域の方々に興味・関心を持っていただくような事業になっている。地域住民の応援を結果に繋げていく。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
今回の大会では他のチームが大幅に総合タイムを更新している中、タイムが伸び悩み最下位になった。選手の体調不良や、大会当日チームに合流できなかった選手がいたことなどが要因になっている。しかし、中・高校生が好走してくれたことは、今後に期待ができる。他のチームの強化が著しい中ではあるが、ベテラン選手の走力維持や、ジュニア選手の育成に努める必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

来年度に向け強化選手を新たに2名募集した。今後は年間を通じて陸上競技場を拠点として練習計画を組み、一般選手はもちろん、高校生・中学生も含めてチーム内競走を加速させ、各種記録会や上位大会に向けハイレベルな大会を目指していく。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
選手の走力向上、また、モチベーションを維持するためにも、大会、記録会、合宿の参加を図っていききたい。また、ジュニア育成、強化に取り組み、長期的なプランを立て底辺拡大を図りたい。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	体育協会、地区陸協との連携を図りながら事務局機能を整備し効率的な強化対策を進めていく必要がある。強化選手の地元企業への受け入れ態勢の構築など、環境整備が必要である。	所属長評価	各町村担当者からの協力と体育協会、地区陸協との連携を図りながら、事務局機能の整備し強化対策を進めていく必要がある。地元企業の協賛金や新たな財源確保と応援体制の充実を図り、新庄・最上の活性化につなげていく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等
<input type="checkbox"/> 現行	
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大 <input type="checkbox"/> 人員の拡大 <input type="checkbox"/> その他()
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小 <input type="checkbox"/> 人員の縮小 <input type="checkbox"/> その他()
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 事業内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施形態の見直し <input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施 <input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> 効果が薄い <input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない <input type="checkbox"/> 時代に適合していない <input type="checkbox"/> 年後に廃止 <input type="checkbox"/> その他
総合意見	

1. 基本事項

事務事業名	陸上競技長距離強化事業			事務事業コード	332-102-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	三浦 元広
	施策名	2	新たな活力を生み出す競技スポーツの振興	内線	472
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項11目	社会体育総務事業費	予算コード	01-100411-0200
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	● 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	陸上競技の普及・底辺拡大(競技者)と県ジュニア駅伝大会において上位入賞を果たすことを目的とする。	事業内容	山形県縦断駅伝競走大会新庄最上チーム強化選手が中心となり、最上地域内の小・中学校児童生徒を指導育成して、高校・大学で活躍しうる選手を発掘する。また、県ジュニア駅伝に出場し、市内の小・中学校の陸上長距離の強化を図る。		
対象	市内及び一部最上地域内の小・中学校の児童生徒				
目指す状態	スポーツの基本である、走ること、持久力と精神力を養うための大会運営と大会参加により、体力の向上と陸上長距離の底辺拡大を図る。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内小中学生	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
	説明(算式等)		実績	6,281	6,064	5,793	5,550	5,354	5,149	6,000
			達成率							
活動指標	指標名称	新庄ハーフマラソン大会の参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
	説明(算式等)	高校生以下参加者	実績	234	294	244	284	174	204	300
			達成率	78.0%	98.0%	81.3%	94.7%	58.0%	68.0%	
成果指標	指標名称	県市町村対抗ジュニア駅伝大会の新庄市チーム(男女)順位・上位順位の方	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
	説明(算式等)		実績	10	11	4	13	12	2	5
			達成率	50.0%	45.5%	125.0%	38.5%	41.6%	250.0%	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	令和元年度実績									
	■新庄ハーフマラソン大会									
	参加者・・・10km高校生8人、5km高校生12人、中学生30人小学生1人、1km小学生153人 計 204人									
	最上郡内の小・中・高校・スポーツ少年団に大会開催について案内を送付									
■山形県市町村対抗ジュニア駅伝大会										
男子の順位・・・ 2位(昨年13位)										
女子の順位・・・ 24位(昨年12位)										
成果(どのような状態になったか)	新庄ハーフマラソン大会の開催を通し、小・中・高校生の競技力向上に繋がっている。山形県市町村対抗ジュニア駅伝大会においては、昨年の順位を上回り、大会経験者が県縦断駅伝の中高校生メンバーに選出されるなど、陸上の長距離競技におけるジュニア育成の機会としての役割を果たしている。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	245	275	286	230	250	480	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	245	275	286	230	250	480	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	1,484	3,748	3,406	4,269	3,056	3,034	山形県ジュニア駅伝競走大会実行委員会負担金	480	
内訳	正規職員(人)	0.19	0.48	0.44	0.54	0.40	0.39		
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	1,729	4,023	3,692	4,499	3,306	3,514			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	ユニフォームが古くなったため、新調した。								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由	(評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある		ジュニア駅伝を経て、中学校、高等学校等で活躍している選手が多く、県縦断駅伝の中高校生メンバーの選出など競技力向上に繋がっている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある		新庄最上地区の陸上競技の底辺拡大と競技力向上を目的とするために必要である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある		競技運営面において、体育協会や新庄地区陸協と協議・検討を重ねる必要がある。
	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある		現在が最低限の事業費であり、競技内容及び、運営面での改善を図るのであれば、事業費の増が必要である。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある		事業費も限られる中、体育協会や新庄地区陸協との調整事務も含め、最低限の人員である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる		他の町村ではチーム編成できないところも出てきており、将来的に連携していく必要がある。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる		体育協会、新庄地区陸協との連携を図りながら、事業を進めていく事が出来る。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている		県縦断駅伝メンバーの選出に伴い、ジュニア選手の育成事業となっている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
陸上競技場が改修され、練習環境が大きく変わり、競技力向上に繋がっている。しかし、子どもの減少により、他のスポ少、部活動との兼ね合いもあり、練習参加、大会への参加が難しい状況である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

縦断駅伝の選手を監督に迎え、スポーツ指導員と共に計画的な練習メニューを立て、練習を行っている。また、地元高校生選手を練習パートナーとして配置し、練習を行う事ができている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
保護者や、小・中学校との連絡を密に行い、選手推薦をお願いしていきたい。練習環境は良くなっているので、スポーツ指導員の指導はもちろん、新庄最上地区には陸上部がないため、改修された陸上競技場を活用し、地区の子どもたちを集めた陸上教室等を定期的に企画し、陸上競技の底辺拡大が必要である。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	ジュニアの育成は必要不可欠であり、強化選手の指導もと県縦断駅伝への選手選出を見据えた強化が必要である。	所属長評価	陸上教室等を定期的に企画し、ジュニア育成と県縦断駅伝への選手選出を見据えた強化が必要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for project name, code, objectives, budget, and period. Includes details for '山形県スポーツ振興21世紀協会負担金'.

2. 事務事業の概要

Summary table with columns for purpose, target, status, and implementation status. Includes '事業内容' and '実施形態'.

3. 実施状況

Performance table with columns for indicator name, year, and achievement rate. Includes indicators for '協会歳出決算' and '都道府県対抗女子駅伝大会'.

補足説明 (指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)
◇サッカー事業
・地域スポーツ振興に関する事業...

成果(どのような状態になったか) 県のスポーツ振興を図ることにより、市民のスポーツ活動への意識を高めた。

4. 投入資源

(単位:千円)

Resource input table with columns for year, amount, and category. Includes '事業費の算出根拠(R1)' and '事業費増減の理由'.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	一流選手の活躍を間近に見ることや選手との交流を図る中で、市民の競技への参加意欲や競技力の向上につながっている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	県民(市民)のスポーツ振興を図るうえで、適当であると考えられる。
有効性	③成果の向上余地がないか	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	モンテディオ山形等の活躍によって、県民(市民)の競技への興味関心を高められる。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	競技者や競技団体への支援を行うには事業費削減は困難である。(県内自治体負担割合に応じて)
効率性	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	県内全市町村が支出する法例外負担金である。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	県内全市町村が支出する法例外負担金である。
	⑧官民協働できるか	● できない ○ できる	県内全市町村が支出する法例外負担金である。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	一流選手の活躍を間近に見ることや選手との交流を図ることは、市民の競技への参加意欲の高まりや競技力の向上のみならず、地域の活性化にも貢献している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)
平成30年10月に協会事務局内にスポーツコミッションが設立された。スポーツイベントや合宿の誘致について積極的に受入れを行うべき。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

関東圏の大学の運動部から合宿の申し出があった。今後、そのような申し出にも対応できるよう、体制の整備や施設の修繕、備品購入等による施設の機能強化を計画している。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)
協会及びスポーツコミッションとの連携強化、情報の共有。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	協会からの情報提供のみならず、有益な情報については、協会事務局へのアプローチも心がけ、団体の競技力向上や体育振興を通じた地域の活性化につなげていくことが望ましい。	所属長評価	協会からの情報提供のほか、協会事務局へのアプローチも心がけ、特にスポーツ合宿の誘致等については、積極的な受入れを行い、体育振興を通じた地域の活性化につなげていくことが望ましい。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for project name, code, objectives, budget, and evaluation period.

2. 事務事業の概要

Table with columns for purpose, target, status, and implementation details.

3. 実施状況

Table with columns for indicators, years (H26-H30, R1), and R2 targets, including a detailed implementation content section.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table showing financial resources with columns for years (H26-H30, R1) and categories like personnel costs and expenses.

(PLAN) 計画



(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	政策(夢と感動のあるスポーツライフの実現)、施策(新たな活力を生み出す競技スポーツの振興)につながる事業である。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	貴重な経験・学びの場として、広く事業の効果を地域で共有すべきである。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	管内において同様の事業を実施している自治体があるほか、児童・生徒の数が減少していることもあり、管内まで広く対象を広げていくことが望ましい。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	年度によっては助成メニューの活用も可能である。
	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	下記同様、定住自立圏形成協定に基づき、その都度、実施内容に応じた事務局体制を構築していくことが望ましい。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	定住自立圏形成協定に基づき、管内市町村が連携して取り組むことにより、参加者数も含め、事業効果が上がるものとする。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	各競技に特化した各種団体とも連携することにより、上記同様、参加者数も含め、事業効果が上がるものとする。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	管内におけるスポーツ事情も違うが、連携して取り組むことによりニーズにあった内容とすることができる

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(R1実績評価)

いかにして事業効果を高めるか。そのための組織体制をどう構築するか。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

定住自立圏形成協定に基づく連携事業として実施できないか、担当者・担当課長会議を開催し、協議・検討を重ねてきている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(R1実績評価)

定住自立圏形成協定に基づく連携事業として実施する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	負担金や助成金により、管内市町村の協力は得ながらも、本市が事務局として実施してきているが、予算措置も含め不安定であることから、定住自立圏形成協定に基づく連携事業として、安定した事業運営が図られるべきである。	所属長評価	負担金や助成金により、新庄市スポーツ推進協議会の協力を得ながら実施したが、予算措置も含め不安定であることから、新庄・最上として子ども達のスポーツ振興を図ろうと定住自立圏形成協定に基づく連携事業としたが、各町村との協議の結果、連携事業としては実施しないこととなった。今後、財源確保しながら、できるだけ良い方法で次世代を担うジュニアの育成を図ってほしい。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	スポーツ指導者活用事業			事務事業コード	332-201-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	三浦 元広
	施策名	2	新たな活力を生み出す競技スポーツの振興	内線	471
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項11目	社会体育総務事業費	予算コード	01-100411-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	スポーツ基本法で設置が義務付けられているスポーツ推進委員の指導力を向上させ、市民スポーツの普及振興を図る。	事業内容	積極的に各種研修会や実技指導に参加して習得したノウハウを市民スポーツの指導に活用する。(スポーツ推進委員19名、平成29年度末時点)		
対象	市民				
目指す状態	ニュースポーツ・軽スポーツの普及振興を図る。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	スポーツ推進委員数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込			
	実績			18	19	15	15	18	18	25			
	説明(算式等)		達成率										
活動指標	指標名称	研修会への参加数と独自研修会の開催数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画			
	実績			9	13	16	20	21	22	12			
	説明(算式等)	定例会、出前軽スポーツ教室	達成率	75.0%	108.3%	133.3%	166.7%	175.0%	133.3%				
成果指標	指標名称	県研修会等の受講者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標			
	実績			34	29	34	25	30	18	50			
	説明(算式等)	地区・東北・全国研修会等も含む	達成率	68.0%	58.0%	68.0%	50.0%	60.0%	36.0%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)												
	スポーツ推進委員の活用状況		地区スポーツ推進委員研修会							7名			
			第55回県スポーツ推進委員研修会							8名			
	出前軽スポーツ教室(自主事業)の実施		13教室	第58回全国スポーツ推進委員							1名		
	(萩野地区放課後子ども教室…5回)			総合型クラブミーティング							2名		
	(本合海地区放課後子ども教室…4回)												
	(鳥越地区公民館軽スポーツ教室…1回)												
	(スペシャルオリンピックス軽スポーツ教室…1回)												
	(JA軽スポーツ教室…1回)												
	(教育の日軽スポーツ教室…1回)							9回					
成果(どのような状態になったか)	市民へのスポーツ指導に必要な知識・技術を習得し、スポーツ教室にて研修会で得たものを市民に還元し、市のスポーツ振興に貢献した。												

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費 … ①	601	397	449	481	604	405	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	601	397	449	481	604	405	主な歳出の内訳		
人件費 … ②	2,733	3,670	2,942	1,818	1,834	1,945	スポーツ推進委員報酬	405	
内訳	正規職員(人)	0.35	0.47	0.38	0.23	0.24	0.25		
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	3,334	4,067	3,391	2,299	2,438	2,350			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	東北スポーツ推進委員研修会の開催が大雨により、中止になったため。								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	市民へスポーツを普及する活動を行い、生涯スポーツの推進を図っている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	用具の整備や指導者の活用により、市民のスポーツ意識の高揚やスポーツ機会の提供を図っている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	研修会で得た専門的な知識をより多くの市民に還元する機会が求められている。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	委員の活動に対する報酬が事業費そのままであり、削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	より積極的に活用するための事務局機能について検討する必要がある。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	最上教育事務所が地区協議会の事務局を担い、管内における諸会議や研修会等を開催している。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	今後も市・推進委員両者が主催するスポーツイベント等の企画・運営について連携が可能である。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	少子高齢化が進む中、市民の生きがいづくりや健康増進、健康寿命の延長に貢献している。

CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価 (R1実績評価)

スポーツ推進委員の専門性を生かし、どのようにして市民のスポーツ機会を充実させていくか。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

定期的な会議の開催や地区・県レベルの研修会などへの参加を通し、各委員それぞれが自己研鑽に努めている。
行政が窓口になり、出前講座の受付や活動機会のPRと情報収集にあっている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価 (R1実績評価)

市民ニーズに応じ、スポーツ推進委員の専門性を高めるため、必要な用具等の購入や指導者育成等の環境整備に加え、健康・福祉担当課等と連携し、推進委員の活動できる機会の充実に努めていく。

ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価 (R1実績評価)	
所属長 評価	単に活動機会の増のみを目指すのではなく、より専門性を高め生かすため、研修機会を充実させるとともに、健康福祉分野での新たな活動を検討するなど、魅力ある推進員の活動を進めていく。合わせて活動に必要な用具の購入等、側面的なサポートに努めていく。	所属長 評価	行政の補完組織としてではなく、独自事業、研修会の機会を設け、推進委員の方々の自主性をより高めて、推進委員の活動を充実させていく必要がある。
今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				